

---

# 熊本県立美術館年報

令和2年度(2020年度)

---

# はじめに

日頃から熊本県立美術館の運営にご支援・ご協力をいただきありがとうございます。当館の沿革や施設概要、令和2(2020)年度に実施した展覧会事業、美術品等の収集活動、教育普及活動などの概要について報告いたします。

当館は、昭和51年(1976年)3月に、古今東西の美術を網羅する「総合美術館」として開館して45年を迎えました。多様な企画展・共催展の開催や体系的なコレクションの収集・保管、各分野における調査研究・研究成果の公開・活用、教育普及など各種事業や県内美術品等の保存継承活動を実施してきました。

他方、「平成28年熊本地震」や「令和2年7月豪雨」など頻発する自然災害対応や世界的に感染拡大し、いまだ終息が見えない新型コロナウイルス(COVID-19)等への危機管理対応など、私たちの生活そのものも大きく変わり、ウィズ・ポストコロナ社会において、展覧会や情報発信等のあり方についても見直しを進めています。

令和2年度の展覧会事業は、企画展・共催展では「モダンアート ニッポン! ウッドワン美術館名品選展」、「江戸の動物絵大集合! 猿描き狙仙三兄弟~鶏の若冲、カエルの泰時も展」などの展覧会を開催いたしました。コロナ感染症拡大のため「モダンアートニッポン! 展」はわずか9日間の開催となりましたが、感染症対策を講じつつも1日あたり観覧者は最大600名近くに達し、改めて美術館に対する県民の期待の大きさを感じました。

収蔵コレクション展は、「細川コレクション」と「美術館コレクション」の2本柱で開催しています。細川コレクション展では「肥後にやってきた、光秀の孫たち細川忠利と三宅藤兵衛展」、「永青文庫創立70周年記念 歴史をこえて細川家の名宝展 国宝“細川ミラー”期間限定公開」、「新発見! 大名細川家の日々のお道具展」、「修復された細川コレクション よみがえった名宝展」、「名君細川重賢と時習館の英雄たち展」などを開催。美術館コレクション展では「大集合! 肥後のわざモン! やきモン! 洋モン! 展」、「親子でみる美術展 二の丸動物園展」、「令和2年度新収蔵品展」、「コレクションを旅する展」を開催いたしました。

美術品収集活動では、熊本ゆかりの絵師・矢野吉重の《雪舟像》や画家・坂本善三などの作品を寄贈いただき、収蔵品の一層の充実を図りました。教育普及活動では、8校で出前授業として実施したスクールミュージアムをはじめ、特別講演会、スライドトーク、子ども美術館など幅広く実施しました。また、コロナ感染症対策を契機とした「おうちで美術館」「ポケット学芸員」「収蔵品の新データベース整備」などインターネット美術館の推進にも注力しました。調査研究活動も、平成20年度から継続している永青文庫からの預かり美術品調査を引き続き進めました。

今後とも、当館の基本理念「熊本の宝を守り活用し、誰もが楽しめる美術館」の下、子どもの頃から豊かな感性を育み、多様な人々が集い交流する美術館をめざして参ります。皆様方の更なるご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

令和3(2021)年4月吉日

熊本県立美術館長 宮尾 千加子

目次
----

<b>沿革</b> .....	1
<b>施設・設備</b>	
施設・設備の概要 .....	5
<b>事業の概要</b>	
令和2年度(2020年度)年間スケジュール .....	9
展覧会記録 .....	10
浜田知明室 .....	25
装飾古墳室 .....	26
教育普及 .....	27
その他の活動 .....	30
<b>資料</b>	
観覧者状況及び事業報告 .....	35
収蔵品の概要 .....	39
購入・寄贈図書目録 .....	45
委員会等名簿 .....	46
その他 .....	48

# 沿革

昭和	43年	3月	25日	県議会において文化資料調査費予算 50 万円可決
"	43年	5月	1日	「熊本県文化資料調査実施要項」制定
"	44年	3月	3日	松本喜八氏兄弟から亡父（嘉平次氏）の遺志により美術館建設基金として 1 千万円寄付
"	44年	7月	1日	「熊本県立美術館本館基金条例」交付 1 億円の積み立て
"	"	"	"	県議会において美術館建設調査費予算 100 万円可決
"	44年	8月	6日	「熊本県立美術館建設促進協力会」発足
"	45年	5月	10日	「昭和 44 年度熊本県立美術館建設調査報告書」作成
"	45年	6月	2日	「熊本県立美術館建設準備委員会設置要項」制定
"	45年	12月	8日	建設準備委員会より「美術館建設に関する答申書」の提出
"	46年	3月	20日	「熊本県立美術館建設委員会」発足
"	"	"	"	「熊本県立美術館建設準備室」設置
"	46年	5月	17日	美術館建設委員会で美術館敷地を現在地に選定
"	46年	9月	20日	建設委員会より「美術館収集に関する意見書」の提出
"	46年	9月	30日	「装飾古墳調査報告書」作成
"	47年	4月	1日	前川国男建築設計事務所に美術館設計委託
"	47年	8月	31日	熊本城二の丸史跡調査完了
"	47年	10月	31日	美術館基本設計完了
"	48年	3月	31日	美術館実施設計完了
"	"	"	"	美術館建設敷地の樹木調査完了
"	48年	9月	17日	装飾古墳レプリカ制作委託
"	48年	12月	8日	チブサン古墳石屋形模型製作委託
"	49年	5月	17日	美術館建設着工
"	50年	5月	24日	美術館定礎
"	50年	7月	1日	「熊本県立美術館条例」公布
"	50年	9月	14日	美術館本体工事完了
"	51年	1月	31日	美術館外構工事完了
"	51年	2月	24日	美術館工事落成
"	51年	3月	4日	美術館開館
"	52年	1月	24日	美術館別館（多目的室棟）着工
"	52年	9月	10日	別館（多目的室棟）竣工
"	54年	6月	28日	「熊本県美術品取得基金条例」公布
"	60年	4月	1日	美術館条例（観覧料）の改正
"	61年	3月	25日	美術館屋外排水設備改修工事完了
"	61年	6月	4日	第 35 回全国美術館会議総会開催
平成	元年	4月	1日	美術館条例（観覧料等）の改正
平成	2年	4月	1日	美術館条例（観覧料等）の改正
"	3年	10月	1日	美術館分館着工
"	4年	5月		野田壁画室工事完了
"	4年	10月	1日	美術館条例（使用料）の改正
"	4年	10月	9日	美術館分館工事完了

〃	4年 10月 20日	美術館分館開館
〃	4年 12月 19日	収蔵庫増設工事着工
〃	4年 12月 27日	やさしいまちづくり事業（エレベーター増設等）工事着工
〃	5年 4月 1日	美術館条例（観覧料）の改正
〃	5年 10月 15日	やさしいまちづくり事業（エレベーター増設等）工事完了
〃	6年 1月 3日	第4、第5収蔵庫増設工事完了
〃	8年 3月	ハイビジョンミュージアムシステム設置
〃	8年 4月 1日	美術館条例（使用料）の改正
〃	8年 11月	美術館本館空調設備、展示室改修工事着工
〃	9年 8月	美術館本館空調設備、展示室改修工事完了
〃	10年 4月 1日	美術館条例（観覧料）の改正
〃	11年 4月 1日	美術館条例（使用料）の改正
〃	11年 6月 28日	障害者の社会的活動への参加の促進のための関係条例の整備に関する条例公布（観覧料減免）
〃	11年 8月 18日	美術館利用規則（休館日等）の改正
〃	11年 10月 23日	天皇皇后両陛下下行幸啓
〃	12年 6月 21日	「熊本県立美術館振興計画策定委員会」設置
〃	13年 3月	開館25周年記念「蒙古襲来絵詞展」開催
〃	13年 4月 1日	美術館条例（使用料）の改正
〃	14年 1月 16日	「熊本県立美術館振興計画策定委員会」より館長に建議
〃	14年 1月 31日	館長から美術館協議会に諮問 美術館振興計画として決定「ミュージアムプランくまもと21 ～会館25年100の提案～」
〃	14年 2月	美術館本館屋上防水工事着工
〃	14年 3月	美術館本館屋上防水工事完了
〃	16年 2月 2日	美術館本館渡り廊下、屋外喫茶フロアー通路スロープ化工事着工
〃	16年 3月 17日	美術館本館渡り廊下、屋外喫茶フロアー通路スロープ化工事完了
〃	17年 12月 8日	非常用自家発電機更新工事着工
〃	18年 3月 17日	非常用自家発電機更新工事完了
〃	18年 8月	開館30周年記念「エコール・ド・パリ展」開催
〃	18年 10月	開館30周年記念「熊本県立美術館名品展 - 精華 - 」開催
〃	18年 11月 1日	美術館利用規則（開館時間）の改正
〃	18年 11月 10日	美術館本館 第6回JIA（日本建築家協会）25年賞大賞受賞
平成	19年 1月 8日	美術館分館展示室1、2、3クロス塗装工事完了
〃	19年 1月 30日	美術館本館1、2階展覧会場クロス張り替え工事着工
〃	19年 3月 30日	美術館本館1、2階展覧会場クロス張り替え工事完了
〃	19年 6月 25日	永青文庫展示室整備建築工事着工
〃	19年 10月 3日	美術館条例（使用料、観覧料等）の改正（H20.4.25施行）
〃	19年 11月 26日	美術館本館搬入用エレベーター改修工事着工
〃	19年 12月 18日	美術館本館講堂床・電灯設備改修工事着工
〃	20年 2月 29日	永青文庫展示室整備建築工事完了
〃	20年 3月 14日	美術館本館講堂床・電灯設備改修工事完了
〃	20年 3月 17日	美術館本館搬入用エレベーター改修工事完了

”	20年 4月 25日	細川コレクション永青文庫展示室開館 開館記念展「細川歴代の文と武と美」開催 (第1部、第2部：4.25～12.24)
”	21年 9月 17日	美術館本館冷凍機オーバーホール工事着工
”	21年 10月 9日	美術館条例(指定管理者制度の導入)の改正(H22.4.1 施行)
”	21年 10月 24日	美術館本館冷凍機オーバーホール工事完了
”	21年 12月 24日	美術館本館氷蓄熱槽ほか空調設備整備工事着工
”	21年 12月 30日	美術館本館氷蓄熱槽ほか空調設備整備工事完了
”	22年 4月 1日	美術館分館 指定管理者制度導入
”	22年 4月 28日	美術館条例(観覧料の減免)の改正
”	22年 12月 22日	美術館条例(利用の許可の基準等)の改正(H23.4.1 施行)
”	23年 8月 18日	美術館永青文庫展示室拡充改修工事着工
”	24年 2月 28日	美術館トイレ改修工事着工
”	24年 3月 6日	美術館条例(協議会)の改正(H24.4.1 施行)
”	24年 3月 28日	美術館トイレ改修工事完了
”	24年 3月 30日	美術館永青文庫展示室拡充改修工事着工
”	24年 10月 31日	美術館本館非常灯用直流電源装置修繕工事着工
”	25年 1月 15日	美術館本館非常灯用直流電源装置修繕工事完了
”	25年 3月 15日	美術館条例施工規則(使用量の返還)の改正(H25.4.1 施行)
”	25年 12月 27日	美術館本館事務室屋上改修工事着工
”	26年 3月 14日	美術館本館事務室屋上改修工事完了
”	26年 3月 24日	美術館条例(観覧料、使用量)改正(H26.4.1 施行)
”	26年 5月 21日	美術館本館空調熱源ユニット修繕工事着工
”	26年 7月 9日	美術館本館空調熱源ユニット修繕工事完了
”	27年 1月 13日	美術館本館エレベータ改修工事着工
”	27年 3月 9日	美術館本館エレベータ改修工事完了
”	27年 10月 29日	美術館本館大規模改修工事(期)着工
”	28年 3月 18日	美術館本館大規模改修工事(期)完了
”	28年 4月 8日	開館40周年記念「大熊本県立美術館展」開催
平成	28年 4月 14日	平成28年熊本地震(前震)発生
”	28年 4月 15日	美術品等の保護と施設設備の安全確認のため、当面臨時休館とする
”	28年 4月 16日	平成28年熊本地震(本震)発生
”	28年 5月 28日	安全確認の目処がつき、再開館へ
”	28年 10月 11日	美術館本館大規模改修工事(期)着工
”	28年 10月 31日	熊本地震により被災した美術品等の修復作業開始
”	29年 3月 13日	美術館本館大規模改修工事(期)完了
”	29年 7月 15日	開館40周年「大熊本県立美術館展リターンズ」開催
”	29年 8月 7日	美術館本館大規模改修工事(期)着工
”	30年 3月 23日	美術館本館大規模改修工事(期)完了
”	30年 8月 4日	永青文庫展示室開設10周年記念特別展「細川ガラシャ」開催
”	31年 3月 22日	美術館条例(観覧料)改正(H31.10.1 施行)
令和	31年 4月 13日	「熊本地震から3年 熊本地震と文化財」開催

令和 31年 4月 13日 「熊本地震から3年 熊本地震と文化財」開催  
" 元年 7月 18日 美術館本館大規模改修工事（期）着工  
2階展示ケース内空調・照明、多目的トイレ改修他  
" 元年 10月 26日 熊本城大天守外観復旧記念「熊本城と武の世界」開催  
" 2年 2月 28日 新型コロナウイルス感染症の影響を受け臨時休館  
" 2年 4月 15日 美術館本館大規模改修工事（期）完了  
" 2年 5月 7日 新型コロナウイルス感染症対策の制限解除を受け開館

# 施設・設備

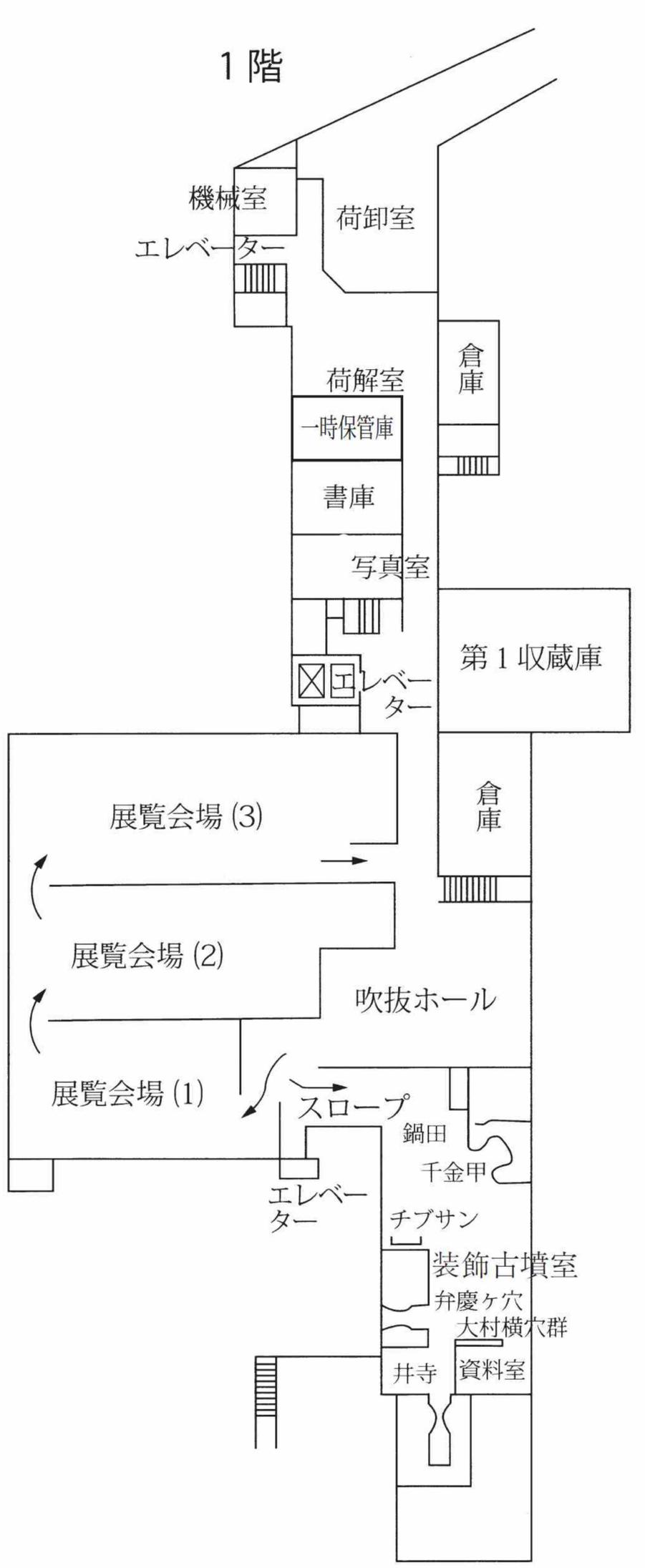
## 施設・設備の概要

		本館	分館
所在地		熊本市中央区二の丸2番	熊本市中央区千葉城町2番18号
設計監理		(株)前川国男建築設計事務所	トレース&ラペニア・大和設計共同体
施 工 業 者	建築	(株)間組「酒井建設工業(株)」	浅沼組・坂口建設建設工事共同企業体
	電気	(株)九州電気工事「村上電気工事(株)」	太陽電気(株)
	空調	(株)大阪電気暖房「協電機工(株)」	上田商会・三祐建設建設工事共同企業体
	衛生	(株)日栄工業「(株)西山商会」	広域設備工業(株)
工期		昭和49年5月17日～昭和51年1月31日 「平成4年12月19日～平成6年1月3日」(増設)	平成3年10月1日～平成4年10月9日
面 積	敷地面積	14,200.00m <sup>2</sup>	4,071.43m <sup>2</sup>
	建築面積	3,793.65m <sup>2</sup>	1,797.15m <sup>2</sup>
	延床面積	7,942.85m <sup>2</sup>	5,084.62m <sup>2</sup>
構 造	造	鉄筋コンクリート造	鉄筋コンクリート造
		地下1階、地上3階	地下1階、地上4階、塔屋1階
仕 上	外壁	炔炉器質打込タイル	石張り(会津石)
	屋根	軽量コンクリート、保護モルタル	銅版張り
設 備	電気設備	減設協議電力 277KW、自家発電装置	契約電力460KW
	空調設備	空気熱源熱回収型スクルーヒートポンプ 空気熱源氷蓄熱スクルーヒートポンプ 空調15系統	空冷式冷凍機、空調機7、空調機16
	衛生設備	上下水道使用、H29年撤去	上下水道使用、受水槽35m <sup>3</sup>
	昇降設備	エレベーター3基(乗用1、荷物用2) ダムウェーター1基	エレベーター2基(乗用1、荷物用1) エスカレーター3基
	その他	屋内消火栓、ハロンガス消火設備	屋内消火栓、ハロンガス消火設備

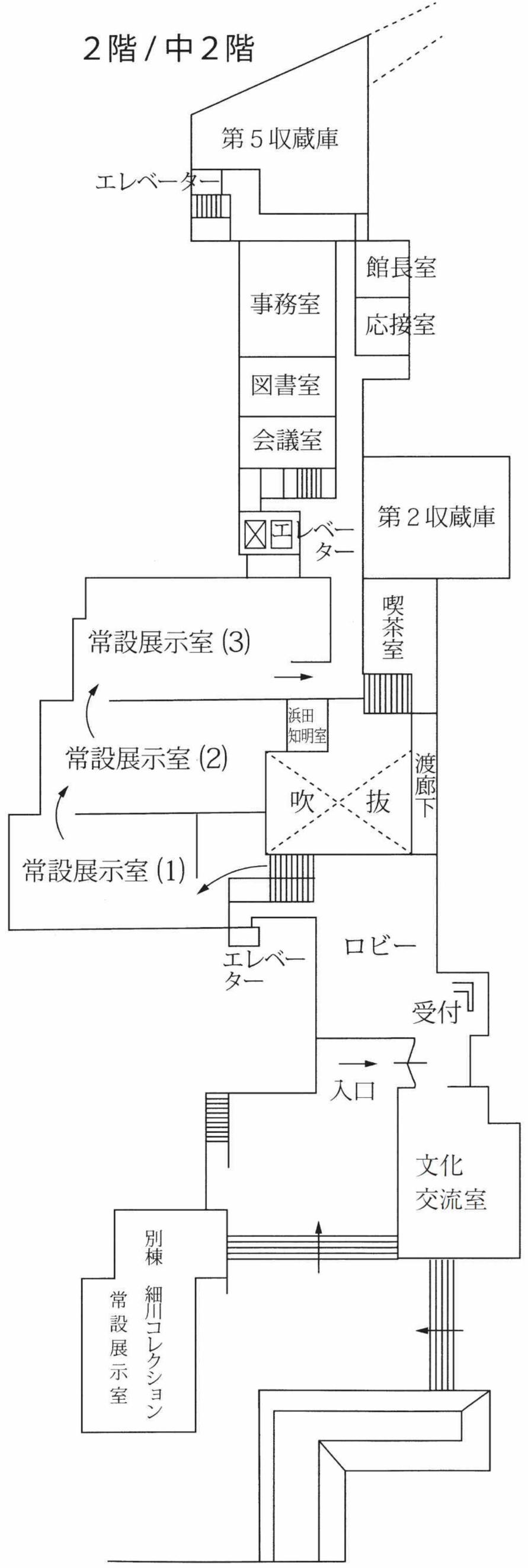
部門別面積

本 館				分 館			
部 門	室 名	室数	面積(m <sup>2</sup> )	部 門	室 名	室数	面積(m <sup>2</sup> )
展 示 室	装 飾 古 墳 室	1	339.37	展 示 室	展 示 室	3	933.47
	常 設 展 示 室	3	902.98		ギ ャ ラ リ ー	1	158.20
	展 覧 会 場	3	1072.64		彫 刻 広 場	1	56.00
	小 計		2314.99		小 計		1147.67
収 蔵 室	収 蔵 庫	5	1062.51	収 蔵 室	収 蔵 室	1	149.42
利 用 施 設	講 堂	1	176.56	利 用 施 設	フ ロ ン ト ホ ー ル	1	62.30
	文 化 交 流 室	1	361.69		図 書 室	1	71.44
	吹 抜 ホ ー ル	1	361.04		A V 室	1	79.20
	喫 茶 室	1	88.47		喫 休 茶 憩 室 室	1	154.21
	そ の 他	1	43.41		ロ ッ カ ー 室	1	11.56
	小 計		1031.17		救 護 室 / 授 乳 室	1	9.24
別 棟 細 川 コ レ ク シ ョ ン 常 設 展 示 室	展 示 室	1	160.20	小 計	売 店	1	20.00
	そ の 他	1	186.60		小 計		407.95
	小 計		346.80		事 務 管 理	事 務 室 ・ 他	
事 務 管 理	事 務 室 ・ 他		2434.51	機 械 室		4	338.80
	機 械 室	2	752.87	倉 庫 そ の 他			2862.79
	小 計		3187.38	小 計			3379.58
	計		7942.85		計		5084.62

美術館本館見取図

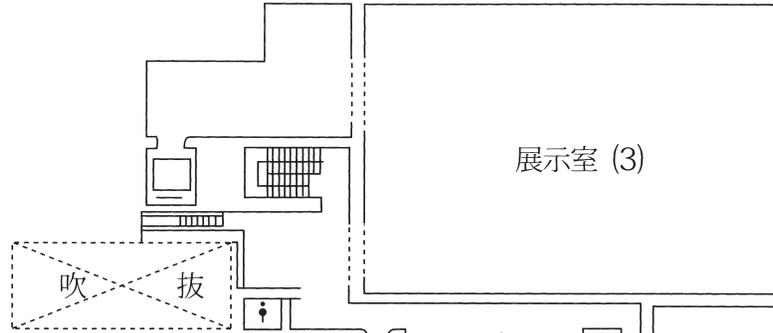


(地下・3階 略)

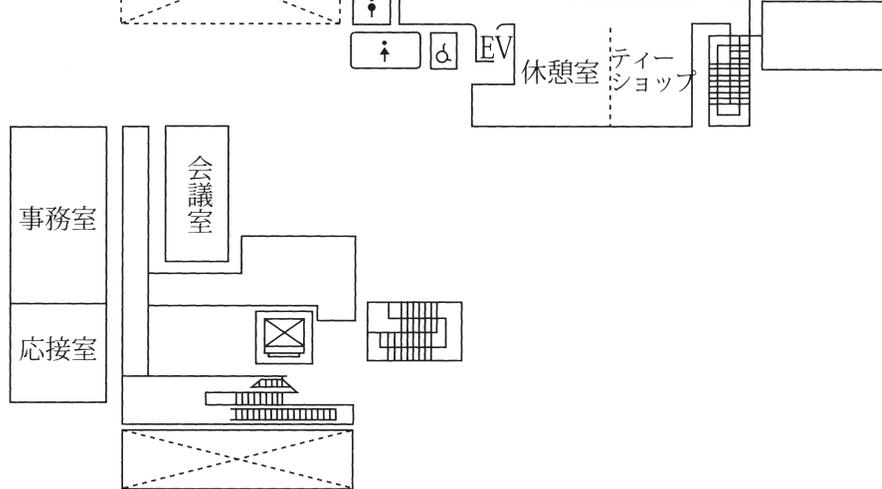


美術館分館見取図

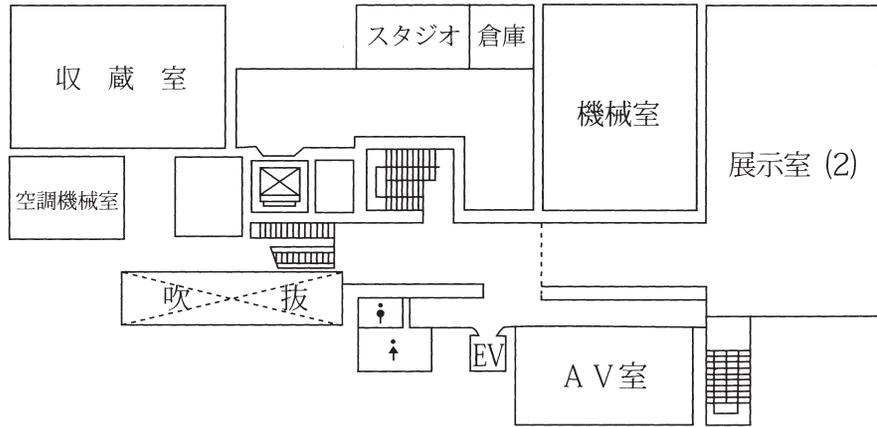
4階



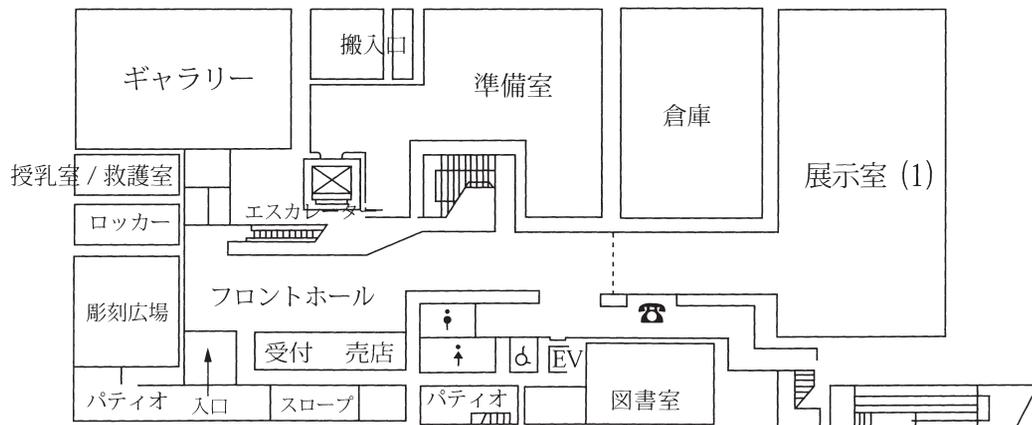
3階



2階



1階



# 事業の概要

## 令和2年度(2020年度)熊本県立美術館年間スケジュール

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																												
本館二階	美術館コレクション 大集合！肥後のわざモン！やきモン！洋モン！ 4/24～7/5 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため変更 5/16～7/5			江戸の動物絵大集合！ 猿描き狙仙三兄弟 - 鶏の若冲、カエルの奉時も 7/18～9/6			永青文庫創立70周年記念 「歴史をこえて 細川家の名宝 国宝“細川ミラー” 期間限定公開！ 新収蔵品展～新しいくまもとの宝もの」 9/18～11/8		細川・美術館コレクション 修復された細川コレクション よみがえった名宝 西洋絵画と日本近代絵画 11/14～12/13		美術館コレクション コレクションを“旅”する 1/9～3/28																													
本館一階	モダンアート ニッポン！ ウッドワン美術館名品選 3/20～5/10 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため変更 5/7～5/15			収蔵庫燻蒸	学第3回 童書道展 熊日新鋭	第4回 熊本書道展	第3回 熊本県シ ル	日本風 景写真 協会 熊 本 支 部 第 1 4 回 写 真 展	二科会 写真部 熊本支 部 展	第4回 熊本県高 等学校 美術展 令和2年 度熊本 県高等 学校風 景画コ ン ク ー ル 優 秀 作 品 展	茶道第 4回学 生選 拔展 第3回 学童 書道 展	うえき ア ー ト 展	くま も と 「 描 く 力 」																											
別棟展示室	細川コレクション 肥後にやってきた、光秀の孫たち 細川忠興と三宅藤兵衛 4/11～7/5 (当初予定) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため変更 5/16～7/5				特集 細川コレクション 親子でみる美術展 二の丸動植物園 7/18～9/22			特集 細川コレクション 新発見！大名・細川家の日々のお道具 10/3～12/13		細川コレクション 名君細川重賢と時習館の英雄たち 1/9～3/21																														
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																												
分館四階	コロナによる休館																																							
分館二階													改修工事による休館																											
分館一階																									改修工事による休館															
ギャラリー																																					改修工事による休館			
会期	12/1～6	8～13	15～20	22～26	1/5～11	13～17	19～24	26～31	2/2～7	9～14	16～21	23～28																												

## 展覧会記録

# モダンアート ニッポン！

## ウッドワン美術館名品選

予定会期 令和2年3月20日(金・祝)～5月10日(日)

実会期 令和2年5月7日(木)～5月15日(金)

会場 本館第1展示室

主催 熊本県立美術館/熊本県教育委員会  
熊本日日新聞社、RKK 熊本放送

特別協力 公益財団法人ウッドワン美術館

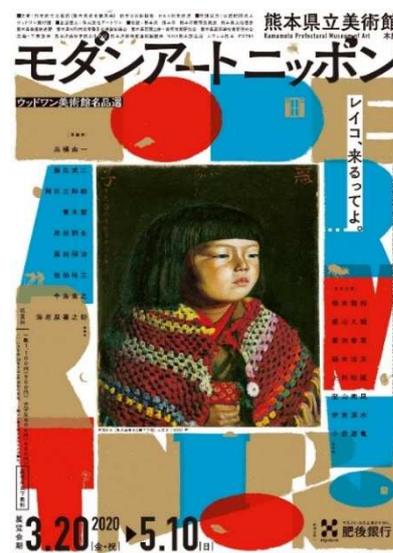
企画協力 株式会社アートワン

後援 熊本県、熊本市、熊本市教育委員会、  
熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、  
熊本県市町村教育委員会連絡協議会、  
熊本県図画工作・美術教育研究会、  
熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会、  
熊本県高等学校文化連盟、熊本県博物館連絡協議会、NHK 熊本放送局、エフ  
エム熊本、FM791

特別協賛 肥後銀行

観覧者数 3,131人

担当者 林田 龍太



## 趣旨とその成果

本展は、熊本県立美術館、熊本日日新聞社、RKK 熊本放送の共催事業として開催した展覧会である。広島県廿日市市にあるウッドワン美術館所蔵の岸田劉生《毛糸肩掛せる麗子肖像》や、藤田嗣治による大壁画《大地》をはじめとする近代日本美術の名品と、ゴッホ、ルノワールの作品を含む約77件の作品を紹介。近代日本美術を中心とする「名品展」は、当館としては約30年振りの開催であった。かねてから「美術の見方」の入門編となる展覧会の開催を求める声も少なくなかったため、本展では出品作品をモチーフ・ジャンルごとにコーナー分けすることで、美術史的・歴史的背景を知らずとも、作品の鑑賞・理解が可能な展示構成を試みた。また、各コーナーの解説及び各作品の解説内容は、目玉作品である《毛糸肩掛せる麗子像》のモチーフ・レイコが語る形式とし、来館者が親しみやすい内容とした。新型コロナウイルス感染防止のため県立美術館は2月28日より休館を余儀なくされ、開会式は中止。再開館の目途が立たない状況ではあったものの、その間もTwitter、You tube などをとおして、展覧会の告知につとめた。また、再開館の決定後は急ぎ感染拡大防止対策を行い、安

心・安全に展覧会を鑑賞できる環境づくりを行った。

再開館・開会できたのは周辺施設で最も早い5月7日であった。少しでも多くの方に観覧いただくため、交渉のうえ会期を4日間延長することができた。開催日数は9日間と極めて短く、総来観者数は当初予定の半数以下ではあったものの、一日当たりの来館者は最高で600名近くにも達した。会場内の入場者数を常時50名以内に抑えるために、文化交流室やホールで来館者に待機を要請し、入場規制をかける場面も多かったが、アンケートの結果から見ても、総じて来館者の満足度は高いものであった。

イレギュラーな事態にみまわれてしまったため、所期の観覧者数を達成することはできなかったものの、再開館後からの来館者数の伸びや満足度の高さなど、美術と県立美術館に期待する県民の心情を再確認することのできた展覧会であった。

#### 関連行事

当初は以下のイベントを予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、全て中止した。

4月18日(土)ミュージアムセミナー

4月27日(月)障がいのある方々のための鑑賞デー

5月 3日(日)子ども美術館

5月 3日(日)おしゃべり鑑賞タイム

会期中の毎月第2・第4日曜日 学芸員によるギャラリートーク

## 第 期 細川コレクション

### 肥後にやってきた、光秀の孫たち 細川忠利と三宅藤兵衛

予定会期	令和2年4月11日(土)～7月5日(日)
実会期	令和2年5月16日(土)～7月5日(日)
会場	本館別棟展示室
主催	熊本県立美術館、公益財団法人永青文庫、 熊本日日新聞社、RKK熊本放送
後援	NHK熊本放送局
特別協力	公益財団法人永青文庫
協力	肥後銀行
観覧者数	1,342人
担当者	萬納 恵介、宮川 聖子



#### 趣旨とその成果

本展では、令和2年の大河ドラマの主人公が明智光秀であることから、明智光秀と肥後熊本の「えにし」を紹介するため、江戸時代に肥後にやってきた二人の光秀の孫の事績をとりあげた。ひとりには細川忠利。細川忠興と光秀の娘の玉（ガラシャ）の間に三男として生まれ、寛永9年（1632）に肥後熊本54万石の藩主となり、肥後にやってきた。もうひとりには三宅藤兵衛。明智家臣の明智左馬助と、光秀の娘（ガラシャの姉）の子息で、本能寺の変後はガラシャの世話にもなりながら育ち、後に肥前唐津藩寺澤家に仕え、天草の富岡城（現在の苓北町）の城代となった人物。天草・島原一揆のにおりに戦死するが、子孫は肥後細川家に仕えた。

当初4月11日(土)開幕予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開幕を延期せざるを得ず、5月16日(土)に開幕。特別講演会も中止したが、大河ドラマの放送により明智光秀に注目が集まっていることもあってか、展示室で長時間過ごす来館者もいたと報告された。

#### 関連行事

当初は以下のイベントを予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、全て中止した。

- 6月13日(土) 特別講演会「光秀の孫について語る」
- 4月27日(月) 障がいのある方々のための鑑賞デー
- 5月 3日(日) おしゃべり鑑賞タイム

## 第 期 美術館コレクション

### 大集合！肥後の わざモン！ やきモン！ 洋モン！

予定会期 令和2年4月24日(土)～7月5日(日)  
実会期 令和2年5月16日(土)～7月5日(日)  
会場 本館第2展示室  
主催 熊本県立美術館  
観覧者数 1,044人  
担当者 萬納 恵介、才藤 あずさ



#### 趣旨とその成果

当館の所蔵品、寄託品の中から刀剣(わざモン)、陶磁器(やきモン)、洋画(洋モン)を選んで展示。刀剣の展示では「かたな」の種類を紹介するコーナーにはじまり、延寿派、同田貫派に代表される肥後の刀剣、そして、かたなを彩る<sup>こしらえ</sup>拵<sup>つば</sup>や鐺などの刀装具を展示した。

陶磁器の展示では、はじめて陶磁器を鑑賞する人でもわかりやすい展示とするため、制作技法や器の種類や用途について実際の作品をもとに詳しく示しながら展示した。

また、西洋絵画では、当館コレクションを代表するエコール・ド・パリの作品群や、熊本ゆかりの画家たちによる作品を展示した。

当初4月24日(金)に開幕予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開幕を延期して5月16日(土)に開幕。

#### 関連行事

当初は以下のイベントを予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大のため、全て中止した。

- 4月27日(月)障がいのある方々のための鑑賞デー
  - 5月3日(日)おしゃべり鑑賞タイム
  - 5月9日(土)ミュージアムセミナー
- 会期中の毎月第2・第4日曜日 学芸員によるギャラリートーク

# 江戸の動物絵大集合！

## 猿描き狙仙三兄弟 - 鶏の若冲、カエルの奉時も

- 会 期** 令和2年7月18日(土)～9月6日(日)
- 会 場** 本館第2展示室
- 主 催** 熊本県立美術館/熊本県教育委員会、  
熊本日日新聞社、RKK熊本放送
- 後 援** 熊本県、熊本市、熊本市教育委員会、  
熊本県文化協会、熊本県美術家連盟、  
熊本県市町村教育委員会連絡協議会、  
熊本県図画工作・美術教育研究会、  
熊本県高等学校教育研究会美術・工芸部会、  
熊本県高等学校文化連盟、熊本県博物館連絡協議会  
NHK熊本放送局、エフエム熊本、FM791
- 特別協賛** 株式会社再春館製薬所
- 協 賛** 竜之介動物病院、学校法人昭徳学園九州動物学院
- 観覧者数** 7,045人
- 担当者** 金子 岳史



### 趣旨とその成果

江戸時代の大坂で名高い絵師のひとりに、森狙仙(そせん)(1747?～1821)がいる。彼は精緻な動物画を得意とし、中でも多くの猿図を残しています。狙仙の描いた「もふもふ」な猿の姿はリアルに、時には人間の行動を投影したかのようにもあらわれ、今も昔も人々の目を楽しませる。その狙仙には二人の兄、森陽信(ようしん)(1736?～1808?)と周峰(しゅうほう)(1738～1823)がおり、彼らは狩野派絵画も学び、猿の絵に特化した狙仙をカバーするかのよう、様々な形態・画題の作品を残し、当時は著名であったものの、現代ではあまり知られていない。また狙仙と同時代には、特定の動物の画題に特化した画家が現れ、鶏の伊藤若冲、虎の岸駒(がんく)、蛙の松本奉時(ほうじ)らが知られている。それぞれの動物画には吉祥的な意味もあり、お家芸を持つことは、多様な流派が並び立っていた当時においては、顧客層の拡大や経済的安定につながった。

本展は、森狙仙の三兄弟と、そういった京都・大坂の動物画を得意とした画家を紹介するものであった。これまで狙仙の三兄弟を取り上げた展覧会は開催されたことがなく、本展が初めての企画となった。当館に先駆けて、2月26日(水)～4月5日(日)まで開催予定であった大阪歴史博物館では、新型コロナウイルスの影響のため、2月28日を以って休館となり、3日間の開催となってしまった。当館開催時も、新型コロナウイルスの第2波が押し寄せた時期であったが、スタッフ・来館者に感染者は確認されず、

予定通りの会期で行うことができた。外出が自粛される風潮の中、当館の古美術の展覧会としては上々の集客であり、さまざまな動物の絵が集う展示内容は、観覧者にも好評であった。

#### 関連行事

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、人数制限を行ったうえ実施。

##### 特別講演会

演 題：「大坂・京都の動物絵画 - 森狙仙とその時代を中心に - 」

講 師：岩佐伸一氏（大阪歴史博物館学芸員）

日 時：7月18日(土)

聴講者：45人

##### ミュージアムコンサート

演奏者：「Viento」(ビエント)

日 時：8月2日(日)

参加者：65人

##### 子ども美術館

「江戸の動物絵コースターを作ろう！」

講 師：参事 石丸 美穂子、参事 福田 友子

日 時：8月9日(日)

参加者：29人

## 第 期 細川コレクション

### 親子でみる美術展 二の丸動植物園

会 期 令和2年7月18日(土)～9月22日(火・祝)  
会 場 本館別棟展示室  
主 催 熊本県立美術館、熊本県教育委員会  
熊本日日新聞社、RKK 熊本放送  
特別協力 公益財団法人永青文庫  
協 力 肥後銀行  
観覧者数 3,044人  
担 当 者 石丸 美穂子、才藤 あずさ



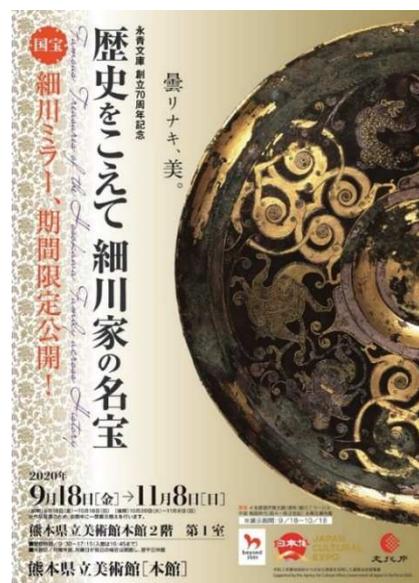
#### 趣旨とその成果

「親子でみる美術展」は、子どもにわかりやすいテーマや作品構成を設定し、美術品や歴史資料に、そして美術館そのものに親しんでもらうことを目的とした展覧会。平成7年から21年にかけて企画され、事業再編等にもないしばらく休止していたが、開館40周年を迎えるにあたり、平成27年度から再開した。再開から4回目となる本展では、「二の丸動植物園」を開催。細川家ゆかりの作品から、「衣・食・住」に着目し、お殿様やお姫様の生活に関わる動植物を紹介した。作品に対して親しみを持ってもらえるよう、解説パネルは、作品に登場する動植物が紹介するスタイルで作成し、イラストをつけた。また、補足パネルやクイズを交えながら紹介したことにより、多くの方から「またやってほしい」「楽しく展示をみることができた」と好評であった。

## 細川・美術館コレクション

### 永青文庫 創立70周年記念 歴史をこえて 細川家の名宝 国宝“細川ミラー”期間限定公開!

会 期 令和2年9月18日(金)～11月8日(日)  
会 場 本館第2展示室 第1室  
主 催 熊本県立美術館、熊本県教育委員会、  
熊本日日新聞社、RKK熊本放送  
特別協力 公益財団法人永青文庫  
協 力 肥後銀行  
観覧者数 4,993人  
担 当 者 宮川 聖子



#### 趣旨とその成果

当初、林原美術館展を開催する予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を勘案して企画を変更した。2020年は、永青文庫創立70周年のメモリアル・イヤー。このことを記念して、およそ10年ぶりに国宝“細川ミラー”(《金銀錯狩獵文鏡》)を期間限定公開した。展示室では、細川コレクションの構成をそのまま生かし、「道具」としての性質が強かった大名家時代のコレクションと、近代になって護立が「美術品」として蒐集したコレクションの、2本柱で作品を紹介。主に細川家に伝わる茶道具や趣向を凝らした大名調度、御用絵師による近世絵画などに加えて、護立蒐集の国宝・重要文化財の東洋美術品、近代日本画、宮本武蔵の絵画等を展示した。前後期通じて、国宝3件・重要文化財5件・重要美術品2件を含む41点を紹介しており、積極的に広報活動を行なった。その結果、国宝による宣伝効果が大きく、短期間の開催ではあったが、多くの観覧者を獲得できた。

#### 関連行事

##### ミュージアムセミナー

演 題：「歴史をこえて 細川家の名宝」

講 師：主任学芸員 宮川 聖子

日 時：10月31日(土)

聴講者：33人

子ども美術館

「国宝きらきらスクラッチアート」

講 師：参事 石丸 美穂子、参事 福田 友子、主任学芸員 宮川 聖子

日 時：11月3日(火・祝)

参加者：34人

## 令和2年度 新収蔵品展 ～新しいくまもとの宝もの～

会 期 令和2年9月18日(金)～11月8日(日)  
会 場 本館第2展示室 第2・3室  
主 催 熊本県立美術館、熊本県教育委員会  
観覧者数 4,993人(第1～3室)  
担当者 萬納 恵介、山中 理彩子



### 趣旨とその成果

当館は、熊本に所在する総合美術館として、熊本ゆかりの 日本及び東洋の古美術  
日本の近・現代美術、 西洋美術の3本の柱により、美術品の収集を行っている。本  
展は、令和元年度寄贈品および令和2年度までに寄託された作品を収集後はじめて展示  
公開するものとして開催した。あわせて、当館が所蔵するフランス近代絵画の名品や、  
ヨーロッパに留学した日本の画家による洋画のコレクションも展示。

### 関連行事

10月12日(月)障がいのある方々のための鑑賞デー

## 第 期 細川コレクション展

# 新発見！ 大名・細川家の日々のお道具

会 期 令和2年10月3日(土)～12月13日(日)  
会 場 本展別棟展示室  
主 催 熊本県立美術館、熊本県教育委員会、  
熊本日日新聞社、R K K熊本放送  
特別協力 公益財団法人永青文庫  
協 力 肥後銀行  
観覧者数 3,942人  
担 当 者 才藤 あずさ



### 趣旨とその成果

熊本県立美術館では、昭和57年頃から公益財団法人永青文庫所蔵の美術品の一部を保管してきた。その総数はおよそ1,470件で、歴代藩主の甲冑をはじめ、藩主夫人の婚礼調度や能道具、書画などの大名道具が含まれている。平成20年度から、文化庁の国庫補助及び県内の企業・団体からいただいた寄付金をもとにした永青文庫常設展示振興基金を活用し、これら美術品の詳細な調査を行ってきた。本展では、調査を完了した美術品のうち、「調度」にスポットをあて、調査で新しく発見された作品や、新しい発見のあった作品を中心に紹介した。同時に学芸員の仕事のひとつである「調査」がどのように行われているのか、その一端を紹介した。

### 関連行事

ミュージアムセミナー

演題：「新発見！ 大名・細川家の日々のお道具」

講師：参事 才藤あずさ

日時：11月28日(土)

聴講者：36人

## 細川・美術館コレクション

# 修復された細川コレクション よみがえった名宝

[1・2室]

## 西洋絵画と日本近代絵画

[3室]

会 期 令和2年11月14日(土)～12月13日(日)

会 場 本館第2展示室

主 催 熊本県立美術館、熊本県教育委員会、  
熊本日日新聞社、RKK 熊本放送

観覧者数 1,931人

担当者 金子 岳史、山中 理彩子



### 趣旨とその成果

県内の企業等からの寄付によって、平成20年3月、熊本県永青文庫常設展示振興基金が設立された。熊本県立美術館では、この基金等を活用して、当館に保管している永青文庫所蔵品の調査(約1,470件)や修復を実施してきている。このうち修復事業では、優れた美術品であるものの、経年変化等により損傷を被っているため展示困難なものを選んで修復してきた。

本展では、当初の姿に近い襖装になった伝狩野山楽筆《狩獵図》、修復後に熊本県指定重要文化財に指定された雲谷等顔筆《竹林七賢図屏風》など、絵画作品を中心に、これまでの修復成果を紹介した。また、昨年度で修復が完了した熊本地震による被災美術品も一部展示し、そのよみがえった姿を紹介した。さらに、第3室では常設展示として、ルノワール《胸に花を飾る少女》などのフランス近代絵画と、熊本ゆかりの日本近代洋画を展示した。

## 第 期 細川コレクション

# 名君細川重賢と時習館の英雄たち

会 期 令和3年1月9日(土)～3月21日(日)  
会 場 本館別棟展示室  
主 催 熊本県立美術館、熊本県教育委員会、  
熊本日日新聞社、RKK 熊本放送  
特別協力 公益財団法人永青文庫  
協 力 肥後銀行  
来館者数 1,419人  
担 当 者 宮川 聖子



### 趣旨とその成果

熊本藩第6代藩主・細川重賢は、延享4年(1747)に兄・宗孝の不慮の死を受けて家督を相続。当時の藩財政は窮乏を極めており、直ちに財政の建て直しに着手した。宝暦2年(1752)には堀平太左衛門を大奉行に抜擢し、いわゆる「宝暦の改革」を断行。役人の綱紀肅正を行ない、行政機構や刑法、教育についても整備し、大きな成果を挙げた。なかでも有名なのが、熊本城二の丸に藩校「時習館」を設立したことである。

本展では、この時習館に注目し、成立過程や教育活動の様子などを古文書から読み解き、加えて重賢ゆかりの品々を紹介した。宝暦5年(1755)の開校以来、時習館は有為の人材を育成し続け、明治3年(1870)に廃校。最幕末には、開明的思想家として知られる横井小楠や、宮内省に出仕して侍講となった元田永孚、明治憲法起草に尽力した井上毅など優秀な人材を輩出しており、彼らの思想がよく表された書蹟を展示した。

コロナ禍の冬季開催であったため集客に苦戦したが、来館者の滞在時間は長く、興味関心のある方々からの質問の多い展覧会であった。

## 美術館コレクション

# コレクションを“旅”する

会 期 令和3年1月9日(土)～3月28日(日)  
会 場 本館第2展示室  
主 催 熊本県立美術館、熊本県教育委員会  
来館者数 1,672人  
担 当 者 金子 岳史



### 趣旨とその成果

当館のコレクションを“旅”をキーワードにして紹介。第1室では、熊本藩御用絵師であった矢野良勝(1760～1821)の絵画を“旅”をテーマにして展示した。良勝は、藩主・細川斉茲に命じられ、衛藤良行とともに肥後各地の風景を15巻に渡って描いた《領内名勝図巻》をはじめ、全国を旅し、各地の風景を描いた。さらに、良勝は室町時代の画家・雪舟に学んだ山水画も多く描いたが、その根底にあるのは、中国の奥地の情景を想像した、いわば「心の旅」である。第1室では、200年前の人々の“旅”へのあこがれを、絵画から見ていく内容で展示した。

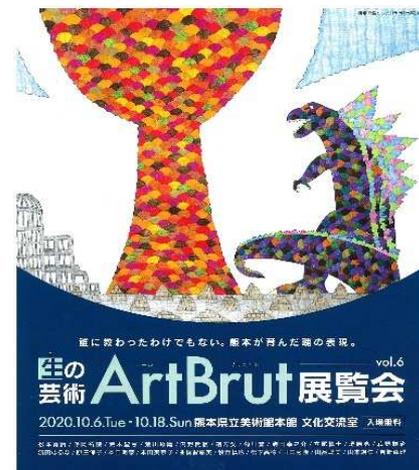
第2室では、細川家のひな飾りを中心に、近代日本の人形と漆芸品を展示した。細川護立の長女・敏子のために製作されたひな人形、近代日本を代表する人形作家・平田郷陽の衣裳人形、高野松山、増村益城らの漆芸作品など、日本の伝統工芸のわざと美の世界を紹介した。

第3室では、2020年で没後75年をむかえた熊本県菊池市出身の洋画家・大塚耕二(1914～1945)を取り上げた。当館が所蔵する大塚の作品と関連資料を“旅”の導き手とし、作品の魅力とその時代を紹介した。併せて、常設展示として、当館の西洋美術の名品も展示した。

き  
生の芸術 Art Brut 展覧会 vol.6

アール ブリュット

会 期 令和2年10月6日(火)～10月18日(日)  
会 場 本館文化交流室  
主 催 アール・ブリュット(生の芸術)パートナーズ熊本  
共 催 熊本県立美術館、社会福祉法人愛隣園  
観覧者数 2,044人  
担 当 者 石丸 美穂子、福田 友子



### <内 容>

本展は、「誰に教わったわけでもない。熊本が育んだ魂の表現」をテーマに、日本を代表するアール・ブリュット作家・松本寛庸さんや藤岡祐機さん、荒木聖憲さんの作品をはじめ、障がいをもつ熊本県在住の作家22人による作品を展示。新型コロナウイルスの影響が心配されたが、入場制限をしながらも例年とほぼ変わらない来場者を得た。当館での展示は、熊本地震後の平成29年に当館が共催に入ったことをきっかけに始まり、今年で4回目。作家にとって県立美術館での展示は、作品を通じた交流の場であり、認められる喜びが創作意欲や自立へとつながっている。会期中、会場は感動の声にあふれていた。

### 関連行事

10月12日(月)障がいのある方々のための鑑賞デー

## スクールミュージアム等

会 期 10月～12月（8校）  
 主 催 熊本県立美術館  
 観覧者数 1,534人  
 担 当 者 石丸 美穂子、福田 友子



### <内 容>

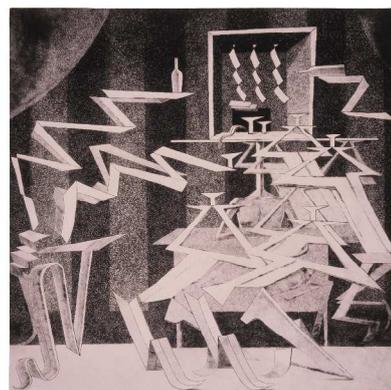
当館では、平成18年から学校に歩みよった教育普及活動として、収蔵品を学校へ持ち込み、学校を美術館にする「スクールミュージアム」を開催してきた。この事業は、活動を通して子どもたちの芸術や文化を愛好する心情を育むとともに、地域にひろく美術鑑賞の機会を設けることを目的とする。令和2年度は、下記の県内8校で実施した。出品作品は、浜田知明、マルク・シャガールの版画作品と原版。実施に当たっては、新型コロナウイルス感染防止対策を学校と協議のうえ行った。

実施日	実施校	児童・生徒 参加者数	保護者等 参加者数	合計
11月2日（月）	天草市立本町小学校	77	30	107
11月5日（木）	熊本市立植木小学校	409	43	452
11月13日（金）	熊本市立川口小学校	63	16	79
11月20日（金）	菊池市立旭志中学校	134	18	152
11月25日（水）	御船町立御船中学校	249	20	269
11月26日（木）	八代市立八代支援学校	52	41	93
12月14日（月）	南小国町立市原小学校	89	21	110
12月15日（火）	人吉市立西瀬小学校	229	43	272
総計	8校	1,302	232	1,534

# 浜田知明室

## 常設展示室

会 期 2階コレクション展と併せて展示替え  
会 場 本館2階浜田知明室  
主 催 熊本県立美術館  
担 当 者 林田 龍太、山中 理彩子



浜田知明《おべっか》1961年  
熊本県立美術館蔵

### <内 容>

熊本市在住の版画家・彫刻家である浜田知明の活動を顕彰すべく、毎回テーマを設定し、版画作品10点程度に加え、1点程度の彫刻作品を紹介している。ただし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大予防のため、第1期にあたる時期を閉室として順延したことにより、計3期の展示となった。また、開室後は室内の混雑を避けるため、展示点数を5点に縮小した。

第1期(8/18～10/18)は「何とかなるさ」というテーマを設け、浜田が不安な心境を作品化した銅板画集『曇後晴』の作品を展示し、新型コロナウイルスの流行による急激な社会の変化の不安のもとに生活しなければならなくなった人々の不安に寄り添う企画とした。

第2期(10/20～12/13)は「もの言うからだ」と題し、浜田が社会や慣習への批判や、日常で抱いた感情などの抽象的なテーマを、人間の身体を変形させることで表現した作品を展示した。

第3期(1/9～3/21)は「黄土地帯」のテーマのもと、浜田が従軍中に眼に焼き付け、生涯忘れることのなかった華北地域の光景を描いた作品を展示した。

# 装飾古墳室

## 常設展示室

装飾古墳は全国で約 700 基確認されているが(平成 30 年現在)、大多数が九州の北・中部に残っており、県内には約 200 基が存在する。当館の装飾古墳室では、熊本県の代表的な装飾古墳を実物とレプリカで再現し、考古学ファンや児童生徒、一般来館者に楽しんでいただいている。

装飾古墳の特徴は、その装飾性にある。直弧文・円文・三角文等の幾何学文様と、武器・武具、人や動物、船や家などの具象形の文様が、彩色されたり彫刻されたりして墳墓や横穴を飾っている。赤・青・白などの単純で強烈な色彩や、素朴で躍動的な造型性は、われわれの心を揺り動かす。

しかし、装飾古墳は、崩壊の一途をたどっているのが現実である。当美術館は公開と保存という矛盾の中から解決を探る試みとして、精巧なレプリカや模刻・模写という方法で地元の偉大な文化遺産を写しとった。

平成 28 年 4 月の「熊本地震」によって古墳室内の展示ケース等が破損したため一部区画を閉鎖していたが、平成 29 年度「本館機能強化工事」によって全国の装飾古墳情報(文字情報と画像)を検索できる端末(2 台)を設置する情報スペースとした(R2.3 現在、コロナ感染症対策のため情報スペースは閉鎖中)。



### レプリカ・模刻

No	名称	出土地名	指定
1	大村横穴	人吉市城本町	国指定史跡
2	千金甲古墳(1号)	熊本市西区小島下町	〃
3	井寺古墳	上益城郡嘉島町	〃
4	鍋田横穴	山鹿市大字鍋田	〃
5	弁慶ヶ穴古墳	山鹿市熊入町	〃
6	チブサン古墳	山鹿市大字城字西福寺	〃

### 石材・石人等

No	名称	出土地名	所蔵(保管)者名
1	広浦古墳石棺石材	上天草市大矢野町	県立済々黌高等学校
2	鴨籠古墳石棺	宇城市不知火町	熊本大学
3	臼塚古墳石人	山鹿市大字石	県立鹿本商工高等学校
4	姫ノ城古墳出土鬘・蓋・靱	八代郡氷川町	氷川町教育委員会

## ■教育普及活動

### □各種講座等

#### 子ども美術館活動

期 日	テーマ	関連展覧会	参加者
8月9日(日)	江戸の動物絵コースターをつくらう	特別展 「江戸の動物絵大集合！猿描き狙仙三兄弟」	29人
11月3日(日)	国宝きらきらスクラッチアート	細川コレクション展「歴史をこえて 細川家の名宝」	34人
			計 63人

#### 出張授業及び研修等

	期日	内容	担当者	場所	
出張・講座等	1	7月8日(水)～12日(日)	「細川忠利と三宅藤兵衛」「二の丸動植物園」展作品返却・借用	金子 岳史 才藤あずさ	永青文庫、南蛮文化館ほか
	2	8月23日(日)～27日(木)	「歴史をこえて 細川家の名宝」「新発見！大名日々の御道具」展作品借用	才藤あずさ 萬納 恵介	永青文庫、京都国立博物館
	3	10月7日(水)～10日(土)	「林原美術館展」事前調査	才藤あずさ 宮川 聖子	林原美術館
	4	10月18日(日)～21日(水)	「海老原喜之助」展打ち合わせ及びワンピース銅像調査他	林田 龍太	姫路市、富山県高岡市ほか
	5	12月1日(火)～4日(金)	「歴史をこえて 細川家の名宝」「二の丸動植物園」「名君細川重賢と時習館の英雄たち」展作品返却・借用	才藤あずさ 宮川 聖子 金子 岳史	永青文庫、京都国立博物館ほか
	6	2月28日(日)～3月1日(月)	「林原美術館展」事前調査	才藤あずさ 宮川 聖子	林原美術館
	7	3月25日(木)～30日(火)	「名君細川重賢と時習館の英雄たち」「新発見！大名日々のお道具」「開館45周年 感謝をこめて魅せます！」展 作品返却・借用	有木 芳隆 萬納 恵介 山中理彩子	永青文庫
研修等	1	6月30日(火)	熊本県博物館連絡協議会理事会・総会	宮尾千加子 山中理彩子	玉名市市民会館
	2	11月5日(木)～6日(金)	九州博物館協議会研修会	大村 郁敬 山中理彩子	沖縄県立博物館・美術館、首里城
	3	11月25日(水)～26日(木)	第68回全国博物館大会	宮尾千加子	横浜市開港記念会館
	4	12月25日(金)	文化庁主催令和2年度著作権セミナー	山中理彩子	メートプラザ佐賀

## □ミュージアムセミナー

### 熊本県立美術館 美術鑑賞講座

期 日	テーマ	講 師	参加者
10月31日(土)	歴史をこえて 細川家の名宝	主任学芸員 宮川聖子	33人
11月28日(土)	新発見!大名・細川家の日々のお道具	学芸課参事 才藤あずさ	36人

## □スライドトーク

※新型コロナウイルス感染予防対策のため、ギャラリートークに変更

期日	テーマ	講 師	参加者
7月19日 8月2、16、30日 ※日曜開催	江戸の動物絵大集合!猿描き狙仙三兄弟	学芸課参事 金子岳史	122人

## □特別講演会

期 日	テーマ	講師	参加者
7月18日(土)	大坂・京都の動物絵画 ー森狙仙とその時代を中心にー	大坂歴史博物館学芸員 岩佐 伸一 氏	45人

## □その他イベント

期 日	内 容	出演者
8月2日(日)	オカリナ、シンセサイザーによる演奏(2回公演)	「Viento」(ビエント)
11月21日(土)	ラテンダンス公演	坂田 吉総、坂田美千子
11月22日(日)	ナイトミュージアムコンサート マンドリン、ピアノによる演奏	福井 誠(マンドリン) 前田 美和(ピアノ)
1月 中止	ワークショップ「能を楽しむ」	能楽師 武田友志、飯富章宏
2月27日(土)	ONE PIECE おとまつりコンサート	菅野 大地(ピアノ) 西田 剛(サクソ)
3月6日(土)	おとまつりコンサート MICA MUSIC LINE	MICA(ピアノ)、功二郎(パーカッション)、黒木奈津美(バイオリン)
3月7日(日)	ONE PIECE おとまつりコンサート	ピアノクインテット

## □学芸員資格取得課程実習（博物館実習）

期日	学校・人数	内容	担当
8/26（水）～ 9/1（火）	熊本大学・崇城大学・ 女子美術大学・八洲学 園大学・長岡造形芸術 大学（5名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・美術館の機能、運営等に関する講義</li> <li>・作品の調査法と取り扱いの実習</li> <li>・展覧会企画に関する講義と実習</li> <li>・当館イベントの補助と参加実習</li> <li>・展覧会企画のプレゼンテーション</li> </ul>	萬納恵介他 関係職員

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響をうけ、受入人数の制限を行うなど、感染症拡大防止対策を行ったうえで実施。

# その他の活動

## 1 新型コロナウイルス感染症への対応

- ・ 非接触体温計及び非接触式サーモグラフィーカメラによる来館者の体温測定、ヘルスチェックシートへの記入
- ・ 入場者数制限
- ・ 感染リスクが高いトイレや手すり等に抗菌・抗ウイルス対策として塗布材（ヘルスブライトエポリユーション）を塗布
- ・ 館内に消毒液を設置
- ・ ソーシャルディスタンスの確保のため立ち位置を示す床へのフットマークの設置
- ・ 受付に透明ビニールシート幕の設置
- ・ 展覧会場出入口にパーテーションの設置
- ・ 喫茶室にアクリルパーテーション（抗菌・抗ウイルス加工）の設置
- ・ 当館の取組のお知らせやヘルスチェックシート、手指消毒のお願い表示を多言語化で掲示
- ・ 職場クラスター防止対策として館職員は1日2回の体温測定と記録、事務室、受付等にある電話機、プリンタなど職員が触れる箇所を1日1回全職員で消毒を実施等々。

## 2 障がいのある方々のための鑑賞デー

通常休館日である月曜日を臨時開館とし、障がいのある方々にゆっくりと展覧会をご観覧頂くためのイベント。午前・午後に分けて、手話通訳者による手話を付けて学芸員による解説も行っている。令和2年度は、以下の日程で開催した。

（日程）                      （開催展覧会）

- ・ 7月 27日（月） 江戸の動物絵大集合！猿描き狙仙三兄弟  
親子で見る美術展二の丸動植物園
- ・ 10月12日（月） 歴史をこえて 細川家の名宝  
新発見！大名・細川家の日々のお道具
- ・ 11月30日（月） よみがえった名宝  
新発見！大名・細川家の日々のお道具

## 3 展覧会広報事業

### （1）印刷物及びインターネットによる広報

- ・ 展覧会スケジュール、展覧会のポスター・チラシ、美術館情報誌「View(年4回発行)」などの印刷物による広報及び各種情報誌への展覧会情報掲載。
- ・ ホームページ、Twitter等インターネットによる広報
- ・ その他情報誌紙（WEB含む）無料掲載多数

## (2) 各種メディア等による広報（共催展等を除く）

- ・ R K K熊本放送ラジオ・テレビ広告（2展）
- ・ 熊本日日新聞朝刊広告（1展）
- ・ くまにちすばいす（熊本日日新聞社）広告（2展）

## (3) 周辺施設等との連携による広報

- ・ 熊本城無料シャトルバス、熊本城周遊バス（しろめぐりん）、城彩苑 広告掲出
- ・ 近隣施設（主要宿泊施設・文化施設・観光施設・神社等）の協力によるポスター掲示  
チラシ掲出

## (4) コロナ禍終息後のインバウンド復活に向けた広報事業展開

- ・ ホームページの外国語ページ（英語、中国語（簡体・繁体）、韓国語）による、展覧会等の情報を掲載
- ・ 前期展覧会の多言語チラシの作成
- ・ 各展覧会紹介の多言語チラシ、英語リストの設置  
新型コロナウイルスの影響により、十分な効果は得られなかったものの、昨年改修したホームページの多言語ページ閲覧数は、昨年の 3,900 件から今年は 13,125 件と 3 倍以上に増加した。継続した取組により、今後の来館者につながることを期待できる。

## 4 インターネット美術館の推進

### (1) 新型コロナウイルス感染症対応を契機とした「おうちで美術館」等の展開

自宅でも美術館を楽しんでもらうための事業「おうちで美術館」として、以下のコンテンツを当館ホームページ、Twitter で配信した。

- ・ 熊本県立大学の学生チーム「Artract」と連携した「展覧会紹介動画」
- ・ 熊本県立美術館が所蔵する作品をめぐりにした「美術館めぐりえ」
- ・ 熊本県立美術館に保存・管理されている作品の中から、各分野の学芸員が見どころを Twitter で紹介する「学芸員のイッピン」

### (2) 収蔵品データベースの整備

- ・ 当館ホームページが県庁ホームページに統合されるのに伴い、これまで HP 内で公開していた収蔵品データベースを新システムに移行。
- ・ 新データベースでは、コレクションの一般公開に加え、美術品管理台帳の出力や画像の管理、貸出状況の確認など、美術館内部における管理システムの拡充を図る。
- ・ 令和 2 年 1 1 月より、新データベースによる収蔵品の一部公開を開始。令和 3 年度にすべての収蔵品について、web 上での公開を行う予定である。

### (3) ポケット学芸員の導入

- ・ データベース移行に付随して、あらかじめ登録した美術品の画像や解説をスマートフォンで閲覧できる「ポケット学芸員」を導入。

令和2年11月より一部作品の公開をおこなった。

- ・ 今後、美術品の展示状況や、データベースの更新状況に合わせ公開数を拡大する。

#### (4) Wi-Fi 通信環境調査事業の実施

- ・ コロナ過での情報発信を行うため、美術館本館・別棟のWi-Fi通信環境に係る調査を行った。Wi-Fi環境の整備については令和3年中に実施する。

### 5 地域や他施設等との共働事業

#### (1) くまもとお城まつり連携事業「ナイトミュージアム」

- ・ **くまもとお城まつりと連携した開館時間延長**  
くまもとお城まつり開催に合わせて開館時間を20時まで延長  
延長期間：11月21日(土)～11月22日(日)
- ・ **熊本博物館との連携事業「リレーミュージアム」**  
観光分野とも連携し、熊本城おもてなし武将隊をナビゲーターとした当館と熊本博物館をめぐり『リレーミュージアムトーク』を開催。  
開催日：11月21日(土)  
開催場所：熊本県立美術館本館、熊本博物館

- ・ **ラテンダンス公演を開催**

「踊る美術館 ～ラテンダンスの世界へようこそ～」

【ダンサー】 坂田吉総 坂田美千子

開催日：11月21日(土)

開催場所：熊本県立美術館本館 吹抜けホール



- ・ **コンサートを開催**

「ナイトミュージアムコンサート ～晩秋の夜に響く  
弦の調べ～」

【マンドリン奏者】福井 誠 【ピアノ奏者】前田美和

開催日：11月22日(日)

開催場所：熊本県立美術館本館 吹抜けホール

#### (2) 熊本城周辺施設をめぐり「見学ルートマップ」を作成・配付し、教育旅行への活用提案

当館、熊本博物館、熊本城ミュージアムをめぐりモデルコース設定したマップを作成し、県内全小中学校、特別支援学校等に配付及び旅行代理店を通して鹿児島県の小中学校に配付を依頼し、教育旅行等での活用を提案。

#### (3) 熊本県伝統工芸館との連携による当館内での県内伝統工芸品のPR・販売

熊本県伝統工芸館と連携して、当館内で、県内伝統工芸品のPRと販売を開始

#### (4)「美術館おやこ無料デー」の実施

「教育・文化週間」「くまもと教育の日」の趣旨に添い、高校生以下の子どもと保護者（子ども1名につき保護者2名まで、妊娠中の女性とパートナーも含む）の入館料を無料とする「美術館おやこ無料デー」を実施した。

実施日：令和2年（2020年）11月3日（火）

参加者：本館 144人（うち高校生以下74人）

別棟 85人（うち高校生以下42人）

#### (5) 熊本県立大学との連携事業の実施

- ・ 若い世代のファン造成及び熊本城周辺施設の復興支援のため、熊本県立大学総合管理理学部津曲ゼミと連携して、当館及び熊本城周辺施設の魅力をツイッター（@Artract16）等で情報発信。さらに、自宅でも美術館を楽しめる「おうちで美術館」のコンテンツの一つとして、くまモンが登場する展覧会紹介動画や、展覧会に合わせたクイズ動画を配信した。
- ・ 文化課が中心となり、熊本城周辺美術館・博物館7施設の活性化のため、熊本県立大学「地域おこしスタートアップ事業」を活用し、総合管理理学部丸山ゼミと連携。同ゼミ学生から7施設の活性化案のプレゼンが行われ、学生と各施設との意見交換等を実施。

## 令和2年度熊本県立美術館ボランティアの活動

### 美術館サポートボランティア

当館のボランティア活動については、平成4年に美術館友の会を母体としてスタートし、平成5年以降は「熊本県立美術館ボランティア会」として、美術館の作業サポートや子ども美術館のワークショップ、コレクションガイドなどの活動を続けてきた。

平成25年度からは、美術館が運営するものとし、名称を「美術館サポートボランティア」と改め、新体制で活動を再スタートしている。

令和2年度は53名が登録し、以下の基本方針のもと、各グループに分かれて活動した。美術館サポートボランティアは美術館の日々の活動を支えることを目的とする。そのために、次の活動を行う。

美術館運営のための支援（作業・広報）活動。

ワークショップ活動（教育普及）の支援活動。

### 活動内容について

#### （1）各グループでの活動（4グループのいずれかに所属し活動する）

##### 図書グループ

毎週火曜日に活動し、展覧会図録や美術図書の整理を行った。

##### 資料グループ

月2回水曜日に活動し、新聞記事の切り抜き、資料の分類・整理を行った。

##### ポスターグループ

第2月曜日、4木曜日に活動し、展覧会ポスター・チラシの掲示・整理、発送作業を行った。

##### 子ども美術館グループ

子ども向けワークショップ「子ども美術館」と前日の準備を活動とし、子ども美術館でスタッフの一員として、教材づくりや子ども達の支援を行った。

#### （2）その他の活動（希望者による活動）

##### 障がい者支援

##### 【障がいのある方々のための鑑賞デー】

令和2年度は、7月27日（月）、10月12日（月）、11月30日（月）の3回開催。午前・午後の交代制で多数のボランティア会員にご協力をいただき、館内案内、展覧会案内、車椅子の移動支援など、障がいのある方々への支援に取り組んだ。

##### 美術館研修会（サポートボランティアを対象に行う）

美術館のミュージアムセミナーに参加した。

##### 自主学習会

意欲のある人たちが集まって以前からの学習会を自主的に継続している。

# 資 料

## 観覧者状況及び事業報告

### 年度別入館者数

年 度	主催・共催展				貸 会 場				計			
	回数	日数	入場者数	1日平均入場者数	回数	日数	入場者数	1日平均入場者数	回数	日数	入場者数	1日平均入場者数
昭和50年度	1	19	23,507	1,237	0	0	0	0	1	19	23,507	1,237
昭和51年度	18	412	302,395	734	17	101	46,471	460	35	513	348,866	680
昭和52年度	14	350	89,775	257	25	158	58,426	370	39	508	148,201	292
昭和53年度	18	438	205,025	468	19	137	76,183	556	37	575	281,208	489
昭和54年度	18	379	136,566	360	25	139	45,824	330	43	518	182,390	352
昭和55年度	16	365	110,593	303	24	173	61,261	354	40	538	171,854	319
昭和56年度	18	412	105,317	256	26	186	55,464	298	44	598	160,781	269
昭和57年度	15	433	182,457	421	25	162	50,476	312	40	595	232,933	391
昭和58年度	16	389	119,773	308	24	182	60,385	332	40	571	180,158	316
昭和59年度	16	398	103,005	259	25	155	47,687	308	41	553	150,692	272
昭和60年度	15	402	80,805	201	24	180	89,936	500	39	582	170,741	293
昭和61年度	16	438	137,798	315	28	186	48,321	260	44	624	186,119	298
昭和62年度	17	452	204,621	453	26	177	67,769	383	43	629	272,390	433
昭和63年度	18	436	143,992	330	25	170	76,406	449	43	606	220,398	364
平成元年度	18	493	192,916	391	25	191	71,004	372	43	684	263,920	386
平成2年度	16	458	182,813	399	27	205	115,017	561	43	663	297,830	449
平成3年度	16	435	182,231	419	26	172	58,675	341	42	607	240,906	397
平成4年度	15	506	137,320	271	31	223	65,103	292	46	729	202,423	278
平成5年度	22	690	153,677	223	104	669	162,734	243	126	1,359	316,411	233
平成6年度	19	565	198,610	352	119	789	193,628	245	138	1,354	392,238	290
平成7年度	18	553	218,537	395	138	887	221,809	250	156	1,440	440,346	306
平成8年度	17	452	210,043	465	92	622	164,596	265	109	1,074	374,639	349
平成9年度	13	363	68,225	188	130	801	189,534	237	143	1,164	257,759	221
平成10年度	16	570	103,579	182	137	889	172,409	194	153	1,459	275,988	189
平成11年度	14	479	163,538	341	158	982	213,522	217	172	1,461	377,060	258
平成12年度	16	525	143,028	272	153	969	253,794	262	169	1,494	396,822	266
平成13年度	13	432	96,938	224	151	965	218,165	226	164	1,397	315,103	226
平成14年度	15	472	120,577	255	144	893	171,247	192	159	1,365	291,824	214
平成15年度	14	481	116,014	241	172	1,059	208,160	197	186	1,540	324,174	211
平成16年度	13	420	65,729	156	174	1,111	209,413	188	187	1,531	275,142	180
平成17年度	12	434	95,550	220	172	1,041	187,883	180	184	1,475	283,433	192
平成18年度	21	385	73,945	192	165	995	189,301	190	186	1,380	263,246	191
平成19年度	21	371	162,652	438	180	1,121	206,943	185	201	1,492	369,595	248
平成20年度	30	663	226,126	341	175	1,093	209,314	192	205	1,756	435,440	248
平成21年度	22	736	98,212	133	174	1,111	260,714	235	196	1,847	358,926	194
平成22年度	22	632	101,051	160	166	1,033	215,981	209	188	1,665	317,032	190
平成23年度	22	525	191,658	365	175	1,034	233,227	226	197	1,559	424,885	273
平成24年度	21	652	137,416	211	168	1,069	281,306	263	189	1,721	418,722	243
平成25年度	24	766	140,291	183	171	1,047	222,282	212	195	1,813	362,573	200
平成26年度	24	736	101,242	138	163	1,050	274,295	261	187	1,786	375,537	210
平成27年度	21	586	82,968	142	123	801	214,023	267	144	1,387	296,991	214
平成28年度	26	316	45,880	145	95	586	97,932	167	121	902	143,812	159
平成29年度	22	430	101,147	235	104	667	173,631	260	126	1,097	274,778	250
平成30年度	25	642	115,013	179	148	1,255	209,691	167	173	1,897	324,704	171
令和元年度	90	631	66,464	105	144	1,125	169,125	150	234	1,756	235,589	134
令和2年度	46	513	29,585	58	39	246	35,589	145	85	759	65,174	86
累 計	784	21,091	5,972,555	283	4,273	27,436	6,449,942	235	5,057	48,527	12,422,497	256

主・共催展観覧者状況

展覧会名	期日	日数	当日			区分			学校 共済組合	友の会		坂本 三友の会	アートサ ボーズ クラブ	合計	無料 高校生	無料 中学生	無料 小学生	未就学児	招待券 (八ヶ岳 半券)	優待券	ポスター	障がい者	その他	総計	一日平均 入場者数		
			一般	大学生	小計	一般	大学生	小計		一般	大学生																
第 期コレクション展 大集合！肥後のむすび！やきもん！洋モン！	4/24 - 7/5 (5/16 - 7/5)	44	169	22	191	団体	0	0	0	9	38	0	4	0	0	0	0	0	0	7	32	76	67	1,044	24		
第 期コレクション展 肥後にやってきた、光秀の孫たち 織川忠利と三宅重兵衛	4/11 - 7/5 (5/16 - 7/5)	44	512	8	520	団体	0	0	0	15	43	0	5	0	0	0	0	0	0	8	33	77	51	1,364	31		
第 期コレクション展 親子でみる美術展 二の丸動物園	7/18 - 9/22	60	1,608	60	1,668	団体	0	0	0	65	71	3	7	0	0	0	0	0	8	0	136	143	3,044	51			
第 期コレクション展 歴史もこえて 織川家の名宝 国宝「織川三郎」期間限定公開！ 新所蔵品展 - 新しいまもとの宝もの-	9/18 - 11/8	46	1,155	46	1,201	団体	0	0	0	71	92	2	9	0	0	0	0	0	22	0	213	461	4,993	109			
第 期コレクション展 よみがえった宝室 - 移された織川コレクション 西洋絵画と日本近代絵画	11/14 - 12/13	27	367	13	380	団体	0	0	0	30	49	2	9	0	0	0	0	0	6	0	87	117	1,931	72			
第 期コレクション展 新発見！大名・織川家の日々のお道具	10/3 - 12/13	64	246	2	248	団体	0	0	0	40	69	2	15	0	0	0	0	0	7	0	136	258	3,942	62			
第 期コレクション展 名匠織川重賢と時習館の英雄たち	1/9 - 3/21	62	289	7	296	団体	0	0	0	23	51	1	6	0	0	0	0	0	2	0	65	112	1,419	23			
第 期コレクション展 コレクションを"展"する	1/9 - 3/28	68	363	52	415	団体	0	0	0	23	68	1	5	0	0	0	0	0	13	0	66	133	1,672	25			
スクールミュージアム(天草市立本町小学校)	11/2	1	30		30	団体	0	0	0															107	107		
スクールミュージアム(熊本市立橋本小学校)	11/5	1	43		43	団体	0	0	0																452	452	
スクールミュージアム(熊本市立川口小学校)	11/13	1	16		16	団体	0	0	0																79	79	
スクールミュージアム(菊池市立旭志中学校)	11/20	1	18		18	団体	0	0	0																152	152	
スクールミュージアム(菊池市立御船中学校)	11/25	1	20		20	団体	0	0	0																269	269	
スクールミュージアム(八代市立八代支援学校)	11/26	1	41		41	団体	0	0	0																93	93	
スクールミュージアム(南小国町立市原小学校)	12/14	1	21		21	団体	0	0	0																110	110	
スクールミュージアム(人吉市立西瀬小学校)	12/15	1	43		43	団体	0	0	0																272	272	
合計		423	4,941	210	5,151	団体	0	0	0	276	481	11	60	0	0	0	0	0	73	65	856	1,342	20,943	50			
特別展 モダンアート日本	5/7 - 5/15	9	1,268	30	1,298	団体	0	0	0	87	96	2	0	0	0	0	0	0	0	23	70	155	70	3,131	348		
特別展 築城を詠んだ三兄弟	7/18 - 9/6	46	920	117	1,037	団体	0	0	0	140	116	4	0	1	4,962	103	422	476	148	273	16	132	265	248	7,045	153	
合計		55	2,188	147	2,335	団体	0	0	0	227	212	6	0	0	1	7,238	158	471	566	182	582	39	202	420	318	10,176	185

## 貸会場事業報告及び観覧者状況(本館)

展覧会名	期日	日数	主催者	内容	入場者数	観覧料
第39回 熊日新鋭・学童書道展	8/4 ~ 8/10	7	(株)熊本日日新聞社	高校生以上の新鋭の部、中学生以下学童の部の上位入賞の585点を展示	931	無料
第42回熊本県書道展	8/25 ~ 8/30	6	熊本書法文化振興会	書道作品198点を展示	514	無料
第32回熊本県シルバー作品展	9/1 ~ 9/6	6	(社)熊本さわやか長寿財団	日本画、洋画、写真、書、彫刻、工芸の6部門の作品233点を展示	1,017	無料
日本風景写真協会熊本支部第14回写真展	9/29 ~ 10/4	6	日本風景写真協会熊本支部	日本風景写真協会(JNP)熊本支部主催で、会員15名による写真展。同時に、当協会の九州ブロック4支部からの作品を含め、52点を展示。	629	無料
二科会写真部熊本支部展	10/13 ~ 10/18	6	二科会写真部熊本支部	写真全紙の作品55点を展示。	806	無料
第45回熊本県高等学校美術展 令和2年度熊本県高等学校風景画コンクール優秀作品展	10/20 ~ 10/25	6	熊本県高等学校文化連盟美術専門部	県内高等学校美術部制作作品(絵画・デザイン・彫刻・立体・工芸等)の展示及び風景画コンクール特選作品を展示	1,133	無料
第47回学生学童書道展 第31回選抜茶掛け展	10/27 ~ 11/1	6	国際文化交流会	熊本県の学生・学童の書作品及び「掛軸様式」の書作品1211点を展示	1,211	無料
うえきアート展	11/3 ~ 11/8	6	植木町文化協会	絵画、写真(全紙写真額パネル仕上げ)の作品を98点を展示	689	無料
くまもと「描く力」2020	11/17 ~ 11/29	12	(株)熊本日日新聞社	県内在住者や県出身者を対象とした美術公募展。入選・入賞の作品133点を展示	2,879	無料
小計		61			9,809	

## 分館(展示室1・2・3)

## 貸会場事業報告及び観覧者状況

展覧会名	期日	日数	主催者	内 容	入場者数	観覧料
2020 安永健二郎油彩・水彩画展	12/1 ~ 12/6	6	安永健二郎	油彩画 水彩画 0号から100号までの作品約80点	584	
第61回熊日写真展	12/1 ~ 12/6	6	熊本日日新聞社事業局	熊日賞の部98点 新人賞の部11点 計109点に招待作家作品を加えて展示	1,219	
第61回熊日書道展	12/8 ~ 12/13	6	熊本日日新聞社事業局	入選以上の作品ならびに当展の委嘱作家、無鑑査の作品を展示 入選以上約180点 委嘱・無鑑査約60点 合計約240点を展示予定	3,209	中学生以上300円
第56回熊本県高等学校書道展	12/15 ~ 12/20	6	熊本県高等学校文化連盟書道専門部	県内高校生の作品約250点教職員作品約50点を展示 本書道展の審査で最優秀賞に選ばれた8点は次年度全国高校総合文化祭の熊本県代表に推薦される	1,257	
くまもと障がい者芸術展	12/22 ~ 12/26	5	くまもとハートワーク実行委員会	障がい者が制作した絵画・書・陶芸・工芸等の作品に日々の活動や作品に込めた思いを記したコメントを添えて展示	407	
第23回玄泉全国書道展	1/5 ~ 1/11	7	玄泉書道会	・日展会友 入選作家 ・玄泉成家 師範他 ・展示作品の種類 2×8尺(額) 全紙(額・軸) 半切(軸) 小作品(軸)	826	
第74回熊日学童スケッチ展	1/5 ~ 1/11	7	熊本日日新聞社事業局	小・中学生から募集した絵画作品から熊日賞、熊本県知事賞、熊本市賞、果実連賞ほか各学年の天・地・人賞、奨励賞合わせて369点を展示	747	
第26回大東文化大学熊本県書作展	1/13 ~ 1/17	5	大東文化大学熊本県書作展	大東文化大学で書道を学んだ本県在住の同窓生、現役学生をはじめ日本の書壇、教育界で活躍される教授、講師陣、愛郷の想いをもって出品される方々など総勢約50人の展覧会 漢字 仮名 漢字仮名交じり 篆刻などを展示	315	
熊本県立御船高等学校普通科芸術コース発表会	1/19 ~ 1/24	6	熊本県立御船高等学校	御船高校芸術コース美術・デザイン専攻3年生の作品と書道専攻3年生の作品をメインに展示 また併せて各専攻1・2年生の作品も展示	555	
熊本市立必由館高等学校芸術コース美術・書道系卒業制作展	1/19 ~ 1/24	6	熊本市立必由館高等学校芸術コース	・美術系・・・3年生の卒業制作40点 デッサン、デザインの作品約15点 油彩、水彩の小作品約30点 賛助出品(小作品)6点 ・書道系・・・3年生の卒業制作約40点 賛助出品6点	1,183	
ルーテル学院高等学校芸術コース美術展	1/26 ~ 1/31	6	ルーテル学院高等学校	ルーテル学院高等学校芸術コース美術専攻の生徒作品の展示 油彩 素描 ミクストメディア 平面構成 模刻 など約100点	436	
第37回美術文化熊本支部展	1/26 ~ 1/31	6	美術文化協会熊本支部	油絵 アクリル画約40点展示	513	
第34回国際文化交流会選抜臨書展	2/2 ~ 2/7	6	国際文化交流会	半切(掛軸及び額) 帖 2尺×8尺(額) 3尺×8尺(額) パネル等 約90点	355	
第1回熊本県書道連盟小品書作展	2/2 ~ 2/7	6	熊本県書道連盟	書道連盟会員約150名が各1点 今回は半折1/2以内の小作品を額、パネル、軸などに表装して展示 家のインテリアとして飾りたくなるような親しみやすい作品	886	
第32回熊本県立大津高等学校美術コース卒業制作展(第73回陽美展)	2/9 ~ 2/14	6	熊本県立大津高等学校	美術コース生による油彩、水彩、デザイン、立体造形等100点程度の作品展示 3年生を中心に2年、1年の優秀作品を展示	668	
第42回水彩連盟熊本支部展	2/9 ~ 2/14	6	水彩連盟熊本支部	水彩連盟支部会員27名がF130～F60の水彩画作品をひとり2点ずつ展示	675	
第26回熊本デザイン専門学校卒業制作展	2/16 ~ 2/21	6	熊本デザイン専門学校	グラフィック 建築 インテリア 映像 ファッション等の学生卒業制作 作品約200点を展示	792	
崇城大学芸術学部卒業展・大学院芸術研究科修了展	2/23 ~ 2/28	6	学)君ヶ淵学園 崇城大学	平面絵画 立体 デザイン 写真 映像 マンガ表現 インスタレーション等約90点の展示 芸術学部第18期生 芸術研究科第16期生の卒業・修了展	2,969	
熊本大学教育学部美術科卒業・修了制作作品展	3/2 ~ 3/7	6	熊本大学教育学部美術科	油彩画などの絵画(約30点)	345	
熊本大学教育学部美術科在科生展	3/2 ~ 3/7	6	熊本大学教育学部美術科	油彩画などの絵画(約30点) デザイン(約5点) 彫刻作品(約10点) 工芸作品(約10点)	308	
第22回書範選抜書道展	3/9 ~ 3/14	6	(有)広深書道会	月刊書道誌「書範」で師範クラスの会員による作品約100点	372	
全日写連熊本県写真展	3/16 ~ 3/21	6	全日本写真連盟熊本本部	熊本県写真展入賞作品約65点(全紙パネル・額) 山都町写真コンテスト入賞作品約27点(A3台紙) 国際写真サロン作品	491	
熊本市老人クラブ連合会シルバー文化作品展	3/23 ~ 4/4	12	熊本市老人クラブ連合会	絵画 書道 手芸 陶芸 工芸 写真	587	
計		144			19,699	
合 計		144			19,699	

## 分館(ギャラリー)

## 貸会場事業報告及び観覧者状況

展覧会名	期日	日数	主催者	内 容	入場者数	観覧料
中野游水書展 -喜寿 明日への一歩-	12/1 ~ 12/6	6	中野恵子	書道作品	667	
第61回熊日書道展	12/8 ~ 12/13	6	熊本日日新聞社事業局	入選以上の作品ならびに当展の委嘱作家、無鑑査の作品を展示 入選以上約180点 委嘱・無鑑査約60点 合計約240点を展示予定	944	中学生以上300円
第56回熊本県高等学校書道展	12/15 ~ 12/20	6	熊本県高等学校文化連盟書道専門部	県内高校生の作品約250点教職員作品約50点を展示 本書道展の審査で最優秀賞に選ばれた8点は次年度全国高校総合文化祭の熊本県代表に推薦される	395	
くもと障がい者芸術展	12/22 ~ 12/26	5	くもとハートウィーク実行委員会	障がい者が制作した絵画・書・陶芸・工芸等の作品に日々の活動や作品に込めた思いを記したコメントを添えて展示	411	
第23回玄泉全国書道展	1/5 ~ 1/11	7	玄泉書道会	・日展会友 入選作家 ・玄泉成家 師範他 ・展示作品の種類 2×8尺(額) 全紙(額・軸) 半切(軸) 小作品(軸)	512	
東光会会員七人展	1/13 ~ 1/17	5	東光会 中尾和弘	東光会会員七名の油彩画約30点の展示 100号×7 10~30号×7×3	379	
熊本デジカメ倶楽部写真展	1/19 ~ 1/24	6	熊本デジカメ倶楽部	熊本デジカメ倶楽部会員12名が撮影した風景や祭り、ポートレート等いろいろなジャンルの写真約40点を展示	387	
熊日日本画教室作品展	1/26 ~ 1/31	6	熊日日本画教室	日本画 風景・静物・花など	379	
個展「あくたがわ展」	2/2 ~ 2/7	6	芥川裕行	作家 芥川裕行の個人展示	87	
第25回キヤノンフォトクラブ熊本写真展	2/9 ~ 2/14	6	キヤノンフォトクラブ	半切額装40点 全紙額装10点 全パイ10点	688	
清和小型条幅書初展	2/16 ~ 2/21	6	清和書道会	書初入賞以上700点 幼児から一般の作品	333	
崇城大学芸術学部卒業展・大学院芸術研究科修了展	2/23 ~ 2/28	6	学)君ヶ淵学園 崇城大学	平面絵画 立体 デザイン 写真 映像 マンガ表現 インスタレーション等約90点の展示 芸術学部第18期生 芸術研究科第16期生の卒業・修了展	887	
計		71			6,069	

## 分館(展示室1・2・3 ギャラリー)

## 合計

		215			25,768	
--	--	-----	--	--	--------	--

# 収蔵品の概要

## 熊本県立美術館の収集方針・収集計画

熊本県立美術館は、古今東西の美術品等の展示・収集・保存・研究等を目的に設置された総合美術館として、(1)日本及び東洋の古美術、(2)日本の近・現代美術、(3)西洋美術についての収集を、次の各項目の方針等に基づいてすすめる。

収集にあたっては、散逸あるいは滅失の危険のある、熊本県内の美術品・文化財等の収集及び保存、本県出身あるいは本県ゆかりの作家等の作品など、熊本県の美術史の流れを展望するための美術品の収集、世界的な視野で美術の流れを広く展望することのできる作品の収集について、特に留意するものとする。

### 1 日本および東洋の古美術

古代から近世に至る熊本の美術・文化・歴史の流れを展望できるコレクションの形成を目指す。

#### (1) 古代・中世の熊本にゆかりのある美術品

彫刻（仏神像など）

絵画（仏画など）

工芸品（染織品や能道具、刀剣など）

書蹟・墨蹟

#### (2) 近世の熊本にゆかりのある美術品

絵画（御用絵師や文人などの作品）

工芸品（八代焼・小代焼などの陶磁器、刀剣や刀装具などの金工品、漆芸品、皮革・染織品など）

書蹟・墨蹟

加藤家・細川家ゆかりの美術品や資料

#### (3) 熊本の美術・文化・歴史に影響を与えた作家・人物・地域にゆかりの美術品や資料

#### (4) 熊本の美術・文化・歴史の展開を鑑賞・検証するために有効な資料

### 2 日本の近・現代美術

本県を代表する作家の作品を核に、日本の近・現代美術史を体系づけるコレクションおよび熊本の美術史を体系化するコレクションの形成を目指す。

#### (1) 熊本ゆかりの作家による近・現代洋画・日本画・版画・工芸・彫刻・デザイン・写真等の作品や資料

なお、本県を代表する作家に関しては、デッサン・スケッチブック・書簡などの資料に関しても「研究資料」として積極的に収集を行うものとする。

浜田知明作品に関しては、全作品の収集を目指す。

#### (2) 熊本を代表する近・現代作家に大きな影響を与えた作家の作品

#### (3) 近・現代美術史に大きな足跡をのこした作家による作品

- (4) 当館における既存のコレクションを拡充・補完する上で必要な作品や資料
  - 今西コレクションの近代版画・工芸・人形
  - 細川コレクションの近代洋画・日本画
  - その他一括して収集されたコレクション
- (5) 日本の近・現代版画
  - 近代版画の動向を示す作品
  - 戦後美術の版画表現に重要な足跡を残した版画家の作品
  - 今日の美術における版画表現の動向を示す作品
  - 上記の作品に関連する資料

### 3 西洋美術

フランスの近代絵画、西洋版画（古典～近代～現代）、近・現代彫刻の作品を核に、西洋美術コレクションの体系化を目指す。

- (1) フランスの近代絵画
  - 印象派と19世紀フランス絵画
  - 印象派やその周辺、アカデミー派（サロン派）など、19世紀フランス絵画の局面を紹介する作品収集を図り、ルノワール等の所蔵品を補完する作品
  - エコール・ド・パリと藤田嗣治（レオナール＝ツグハル・フジタ）
  - エコール・ド・パリやその周辺の動向など、20世紀前半のフランスを舞台に活動した芸術家たちの系譜と交流の軌跡を辿る作品。特に本県とゆかりの深い藤田嗣治（レオナール＝ツグハル・フジタ）は重点的収集を目指す。
- (2) 西洋版画の系譜の体系化
  - 16世紀から18世紀までの古典版画（Old Master Print）
  - 19世紀から20世紀前半までの近代版画（Modern Print）
  - 20世紀後半以降の現代の版画動向を示す作品（Contemporary Print）
- (3) 近・現代の西洋彫刻
  - 近代フランスの彫刻
  - ロダン以降の近代彫刻史に大きな足跡を残した彫刻家の作品
  - 現代の彫刻
  - 20世紀後半以降の現代彫刻の動向を展望することのできる作品
- (4) 上記の項目に関連の深い優れた西洋美術の作品や資料

### 4 優れた質と内容を有し、纏まった形で収集されたコレクション

# 令和2年度美術品収集品目

## 寄贈作品（令和2年度）

	作品名	作者名	品質形状	寸法（cm）	制作年
1	築山家絵画資料	築山勝遠	紙本墨画淡彩・ 卷子装	縦 39.3 ~ 36.9	寛政 12 ~ 享和 2 年 （1800 ~ 1802）
2	雪舟像	矢野吉重	絹本着色・掛幅 装	79.0 × 36.7	江戸時代前期 （17世紀）
3	禽鳥図	矢野吉安	紙本墨画・掛幅 装	79.0 × 36.7	江戸時代前期 （17世紀）
4	達磨図	日収秋潤	紙本墨画・掛幅 装	（各）81.0 × 31.2	江戸時代前期 （17世紀）
5	寒山拾得図		紙本墨画・掛幅 装	95.9 × 46.5	江戸時代前期 （17世紀）
6	四季山水図巻摸本	矢野良勝	紙本墨画淡彩・ 卷子装	32.9 × 107.8	江戸時代後期 （18 ~ 19世紀）
7	漢詩屏風	北島雪山	紙本墨書・屏風 装（二曲一隻）	（各）134.1 × 47.1	江戸時代前期 （17世紀）
8	漢詩屏風	豪潮	紙本墨書・屏風 装（二曲一隻）	（各）131.2 × 54.3	江戸時代後期 （18 ~ 19世紀）
9	「致知格物」屏風	佐藤一斎	紙本墨書・屏風 装（二曲一隻）	（各）148.4 × 85.1	嘉永 6 年（1853）
10	日蓮上人像	松原祥雲	木彫	幅 19.0 × 奥行 12.7 × 高 11.8	昭和 10 年（1935）
11	鬼子母神像		木彫	幅 13.2 × 奥行 9.0 × 高 23.0	昭和初期 （1930年代）
12	釈迦・多宝二仏並坐像		木彫	幅 24.7 × 奥行 9.0 × 高 25.5	昭和 10 年（1935）
13	無題（画廊喫茶ぶらう ん関連資料）	坂本善三	水彩、鉛筆、イ ンク・紙	28.0 × 37.6	昭和 40 年（1965）
14	無題（画廊喫茶ぶらう ん関連資料）		水彩・色紙	27.0 × 24.1	不詳
15	「画廊喫茶ぶらうん」 店名ロゴ（画廊喫茶ぶ らうん関連資料）		印刷、紙	38.2 × 45.6	昭和 38 年 （1963）頃
16	画廊喫茶ぶらうん開店 告知ポスター（画廊喫 茶ぶらうん関連資料）	船崎直一	印刷・油性ペン 加筆、紙	38.8 × 49.8	昭和 38 年（1963）

収蔵品の概要

収蔵品一覧表（令和2年度末現在）

区分	県有美術品												基金財産			寄託品			合計			
	購入			寄贈			保管転換			小計			R1年度	R2年度	小計	R1年度	R2年度	小計	R1年度	R2年度	計	
	R1年度	R2年度	小計	R1年度	R2年度	小計	R1年度	R2年度	小計	R1年度	R2年度	小計										
日本 古美術	絵画	167		167	301	6	307				468	6	474	13		13	266	1	267	747	7	754
	書跡	182		182	390	3	393				572	3	575	17		17	336		336	925	3	928
	彫刻				1		1				1		1				48		48	49		49
	工芸(陶磁)	79		79	94		94				173		173	4		4	20		20	197		197
	工芸(他1)				2		2				2		2							2		2
	工芸(他2)	6		6	234		234				240		240	1		1	1,353		1,353	1,594		1,594
	考古																9		9	9		9
	その他																6		6	6		6
	計	434		434	1,022	9	1,031				1,456	9	1,465	35		35	2,038	1	2,039	3,529	10	3,539
日本 近現代	油彩画	73		73	426		426	6		6	505		505	36		36	16	1	17	557	1	558
	版画	113		113	749		749				862		862	17		17	4		4	883		883
	デッサン	38		38	292		292				330		330	2		2	4		4	336		336
	彫刻	38		38	32	3	35				70	3	73	31		31	4	-3	1	105		105
	工芸	83		83	114		114				197		197	23		23	1		1	221		221
	日本画	160		160	163		163				323		323	17		17	17		17	357		357
	水彩画・その他	13		13	115	2	117				128	2	130	3		3	6		6	137	2	139
	計	518		518	1,891	5	1,896	6		6	2,415	5	2,420	129		129	52	-2	50	2,596	3	2,599
東 洋	絵画	10		10	1		1				11		11				1		1	12		12
	書跡	2		2	2		2				4		4							4		4
	彫刻				1		1				1		1				1		1	2		2
	工芸(陶)				7		7				7		7							7		7
	工芸(他)	12		12	5		5				17		17							17		17
	考古				110		110				110		110							110		110
	その他				4		4				4		4							4		4
	計	24		24	130		130				154		154				2		2	156		156
西 洋	油彩画	5		5	3		3				8		8	6		6	3		3	17		17
	版画	138		138	102		102				240		240	11		11				251		251
	デッサン	1		1	1		1				2		2	2		2				4		4
	彫刻	8		8							8		8							8		8
	水彩画・その他	3		3	5		5				8		8	2		2				10		10
	計	155		155	111		111				266		266	21		21	3		3	290		290
美術資料				199	2	201				199	2	201	2		2				201	2	203	
合計	1,131		1,131	3,353	16	3,369	6		6	4,490	16	4,506	187		187	2,095	-1	2,094	6,772	15	6,787	

## 令和2年度美術品貸出記録（館蔵品）

令和2年度中に他館に貸し出し、令和3年度に展示された美術品を含む。なお、本リストに寄託品は含まれない。

作家名・文書名	作品名	貸出先	展覧会名	展覧会会期
松田澄夫	6.26水害スケッチ 洗馬橋の流木	松田裕一郎 (アートスペース蓮台寺)	「松田澄夫白寿記念作品展」	R2 8/4～8/9
	6.26水害スケッチ 本山付近の排土の山			
	6.26水害スケッチ 病院橋付近			
	6.26水害スケッチ 泰平橋付近			
	6.26水害スケッチ 産業道路の復旧工事			
	6.26水害スケッチ 白川橋左岸			
	6.26水害スケッチ 子飼橋畔の被害			
	6.26水害スケッチ 本山産業道路の復旧工事			
	6.26水害スケッチ 白川橋の架橋工事			
	6.26水害スケッチ もぎ取られた白川橋			
	三宅家文書			
細川ガラシャ消息				
細川光尚書状				
源姓三宅氏中興家伝		天草市立天草キリシタン館	「天草を治めた光秀の孫 ～仁義の侍 三宅藤兵衛～」	R2 10/14～12/21
細川忠興書状 三宅藤兵衛宛				
三宅藤兵衛灯籠建立の趣意書				
松山千太郎書状				
牛島憲之	秋川	神戸市立小磯記念美術館 豊田市美術館	「わが青春の上社会 昭和を生きた洋画家たち」	R2 10/13～12/13 R3 1/5～3/14
	まるいタンク			
三宅家文書	明智光秀書状	永青文庫	「新・明智光秀論 細川と明智 信長を支えた武将たち」	R2 11/21～R3 1/31
松本喜三郎	黄玄朴像	熊本博物館	「ひとのすがた、いのりのかたち 肖像彫刻の世界」	R2 12/5～R3 1/4

# 購入・寄贈図書目録 [ 令和2年度 ]

## < 購入図書 > 備品購入費による

書名	編・著者名	発行所	発行年
日本美術 美術運動 日本美術会機関紙誌 復 刻版	日本美術会, 科学振興社, 昭森 社	三人社	2020年
短冊手鑑	小松茂美	講談社	1983年
肥後文教と其城府の教育	野田寛口述・山本十郎編	熊本市教育委員会	1956年

## < 友の会から寄贈された図書 >

書名	編・著者名	発行所	発行年
名刀大全	渡邊妙子・原田一敏監修	小学館	2020年
仏教芸術論集第5巻	長岡龍作 編	竹林舎	2014年
中国絵画総合図録三編 第五巻	小川裕充・板倉聖哲編	東京大学出版会	2019年

# 委員会等名簿

## 熊本県立美術館協議会委員名簿

令和3年3月31日現在

氏名	役職名
河野 景治	熊本県立美術館友の会世話人
川野 智子	熊本市立春日小学校長
園田 恭子	熊本県PTA連合会副会長
田端 文一	熊本博物館長
堤 純子	織月酒造株式会社 代表取締役社長
中村 賢次	崇城大学芸術学部長、美術学科教授
野尻 隼人	熊本県立熊本翔陽高等学校教諭
橋口 海平	前熊本県議会教育警察常任委員会委員長
平木 美和	熊本市立芳野中学校長
福島 絵美	(株)熊本放送アナウンサー
藤井 宥貴子	熊本県交流館パレア館長
丸野 香代子	(株)談 代表取締役社長

(五十音順、 会長)

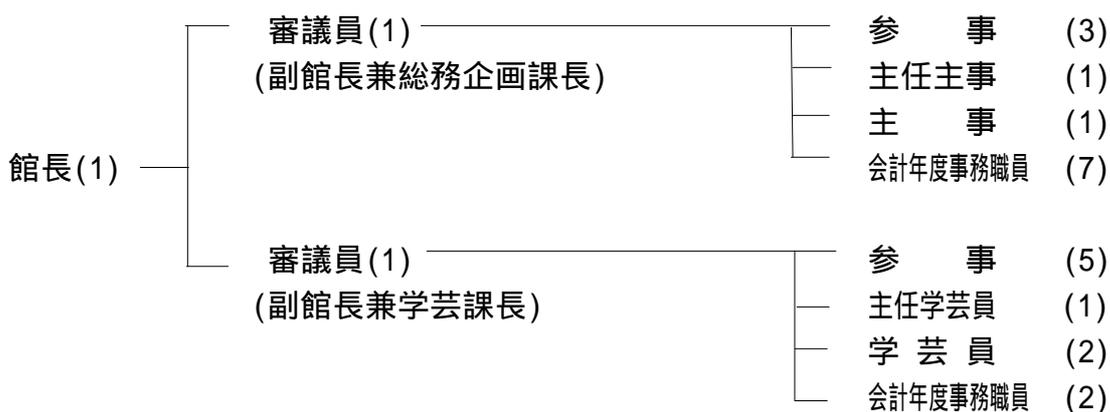
## 熊本県立美術館収集委員会委員名簿

令和3年3月31日現在

氏名	役職名
石井 祐子	九州大学基幹教育院 人文社会科学部門 准教授
竹口 浩司	広島市現代美術館 学芸担当課長
竹原 明理	熊本博物館 学芸員
中山 喜一郎	福岡市美術館 総館長
林 千寿	八代市立博物館 学芸課参事
森山 秀子	久留米市美術館 副館長兼学芸課長
山下 弘子	坂本善三美術館 学芸員

(五十音順、 委員長)

## 熊本県立美術館の機構及び職員数（令和3年3月31日現在）



## 美術館職員名簿（令和3年3月31日現在）

氏名	職名	氏名	職名
宮尾 千加子	館長	宮川 聖子	主任学芸員
津川 尚美	審議員（副館長兼総務企画課長）	萬納 恵介	学芸員
有木 芳隆	審議員（副館長兼学芸課長）	山中 理彩子	学芸員
渡辺 史子	参事		
齊藤 修	参事	吉田 玲子	会計年度事務職員
甲斐 博旨	参事	野中 彩能	会計年度事務職員
井川 直子	主任主事	福嶋 昭二郎	会計年度事務職員
大村 郁敬	主事	友田 俊司	会計年度事務職員
石丸 美穂子	参事	松山 比呂美	会計年度事務職員
福田 友子	参事	中西 野絵	会計年度事務職員
林田 龍太	参事	関本 敏博	会計年度事務職員
金子 岳史	参事	高森 荘子	会計年度事務職員
才藤 あずさ	参事	西島 麻里子	会計年度事務職員

# その他

## 熊本県立美術館友の会の活動

美術館友の会は、県立美術館の活動を援助し、美術館の充実と地域文化の向上に寄与することを目的として、昭和50年5月に発足した。平成27年は、設立40周年となり、設立40周年記念事業や祝賀会などを開催した。

友の会は県立美術館開館以来美術関連図書などを寄贈し調査研究等に貢献してきている。会員は、「会員証」で、県立美術館をはじめとする県内7館において開催される展覧会を各1回鑑賞することができる。また、県立美術館所蔵図書の閲覧ができるほか、機関誌「View」や友の会のお知らせを受け取ることができる。

## 特典

次の美術館に無料(1展覧会1回)で入場できる。(友の会負担)

県内：熊本県立美術館、熊本市現代美術館、坂本善三美術館、つなぎ美術館、不知火美術館、島田美術館、芦北町立星野富弘美術館

次の美術館に割引料金で入場できる。

県外：大分県立美術館、長崎県美術館、長崎歴史文化博物館、長崎近代交流史と孫文・梅吉庄吉ミュージアム、九州国立博物館(文化交流展)

熊本県立美術館の展覧会図録を開催期間中購入2割引。

熊本県立美術館の本館・分館喫茶室割引有。

友の会企画の国内・海外旅行に参加できる。

## 会員数

(令和3年3月現在)		253名	(会員証発行：319枚)
A会員	30組	会費 10,000円	(会員証2枚：本人1枚、家族用1枚)
B会員	183名	5,000円	(会員証1枚：本人)
C会員	9社	30,000円以上	(会員証5枚：会社名義)
D会員	31名	3,000円	(学生会員)

## 活動状況

- ・機関誌「View」4回発行(美術館との共同編集)
- ・図書購入・寄贈
  - 『中国絵画総合図録三編 第六巻 総索引』
  - 『日本彫刻史基礎資料集成 鎌倉時代造像銘記扁十四』
  - 『桃山文化期漆工の研究』
- ・次年度会員拡大に向けて「熊本県立美術館友の会」案内チラシ(A4両面カラー)の作成配布

## 令和2年度役員

代表世話人	福田 稠
副代表世話人	松木良介、河島一夫
監 事	池田耕一、河野景治
世 話 人	宮尾千加子、坂田燦、河島美智奈、二子石義之、高田浩子、村上了一、小坂肇、林田勉、木下修、森本清子、平井勝典、井上正敏、岡田直幸、中熊則子、長崎健一
名誉世話人	樋口欣一、芹川光行
美術館職員	津川尚美、有木芳隆、井川直子

## 美術館案内

### 熊本県立美術館本館 Kumamoto Prefectural Museum of Art

所在地: 熊本市中心区二の丸2番 〒860-0008

Tel 096-352-2111 Fax 096-326-1512

開館時間: 午前9時30分～午後5時15分(入館は午後4時45分まで)

交通案内: バス / 「熊本桜町バスターミナル」で下車、城彩苑内を通過して徒歩15分。または「熊本桜町バスターミナル」で熊本城周遊バス(しろめぐりん)に乗り換え、「熊本城・二の丸駐車場」で下車、徒歩3分

市電 / 「市役所前」または「花畑町」下車、徒歩15分

JR / 「熊本駅」から熊本城周遊バス(しろめぐりん)に乗車、「熊本城・二の丸駐車場」で下車、徒歩3分。「上熊本駅」からタクシーで10分

熊本空港 / 空港バスで桜町バスターミナルへ。バスターミナルから徒歩15分。またはバスターミナルで熊本城周遊バスに乗り換え、「熊本城・二の丸駐車場」下車、徒歩3分

駐車場 / 二の丸駐車場(有料)、三の丸駐車場(有料)

休館日: 月曜日(祝日・休日の場合はその翌日)、年末年始 他

### 熊本県立美術館分館 Kumamoto Prefectural Museum of Art, Chibajo Branch

所在地: 熊本市中心区千葉城町2-18 〒860-0001

Tel 096-351-8411 Fax 096-351-8566

開館時間: 火曜～金曜 / 午前9時30分～午後6時30分(入館は午後6時まで)

土日祝日・休日 / 午前9時30分～午後5時15分(入館は午後4時45分まで)

交通案内: バス / 「市役所前」下車、徒歩5分  
または熊本城周遊バスで「県立美術館分館横」下車

市電 / 「市役所前」下車、徒歩5分

休館日: 月曜日(祝日・休日の場合はその翌日)、年末年始 他

### インターネットアドレス <https://www.museum.pref.kumamoto.jp>

